



神奈川県

厚木保健福祉事務所

平成 27 年度

# 厚木保健福祉事務所年報

— 2 0 1 5 —

# 目 次

第1章 概 要	(1) 家庭訪問……………	60
1 地域の概況……………	(2) 所内指導……………	60
(1) 管内略図……………	(3) 家庭訪問以外の保健活動……………	60
(2) 管内人口及び世帯数等……………	10 保健福祉サービス連携調整会議……………	61
(3) 人口動態総覧……………		
(4) 医療関係施設……………		
2 保健福祉事務所の概況……………	第3章 健康で快適な生活環境の確保	
(1) 厚木保健福祉事務所の組織……………	1 食品保健対策の充実……………	62
(2) 職種別職員配置状況……………	(1) 食品関係営業施設の監視指導……………	62
(3) 平成27年度決算……………	(2) 営業施設数の推移……………	63
	(3) 食品等輸入事務所等の届出……………	65
	(4) 食品・器具等の収去検査……………	65
	(5) 違反食品等の発見等……………	65
	(6) 違反施設……………	65
	(7) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況……………	66
	(8) 食品衛生講習会……………	66
	(9) 苦情処理……………	67
	(10) 免許取扱い数……………	67
	2 環境保健対策の充実……………	68
	(1) 生活衛生指導事業……………	68
	(2) 水浴場等対策事業……………	70
	(3) 温泉指導監督事業……………	71
	(4) 動物保護等対策事業……………	71
	(5) 水道指導事業……………	72
	3 医薬品等安全対策の充実……………	73
	(1) 薬事指導監督事業……………	73
	(2) 毒物・劇物指導監督事業……………	74
	(3) 麻薬指導監督事業……………	74
	(4) 薬物乱用防止対策事業……………	75
第2章 健康な地域づくりの推進	第4章 健やかで安心した生活を支える福祉の推進	
1 生涯健康対策の充実……………	1 福祉事業の普及・支援……………	76
(1) 禁煙・受動喫煙対策……………	(1) 地域福祉の事業……………	76
(2) 母子保健対策……………	(2) 福祉の貸付事業……………	78
(3) 生活習慣病予防対策……………	2 福祉事業の推進……………	79
(4) 食生活の対策……………	(1) 生活保護……………	79
(5) 歯科保健対策……………	(2) 障害児者福祉……………	81
(6) 救急法普及啓発事業……………	(3) 児童福祉……………	82
2 感染症・結核対策の充実……………	(4) 女性保護……………	82
(1) 感染症対策会議……………	(5) 母子父子寡婦福祉……………	83
(2) 結核予防事業……………		
(3) 感染症予防事業……………		
(4) 性感染症予防……………		
(5) エイズ予防事業……………		
(6) 肝臓疾患対策事業……………		
3 メンタルヘルス対策の充実……………		
(1) 精神保健福祉事業……………		
4 認知症疾患対策の充実……………		
(1) 認知症疾患対策保健所事業……………		
5 難治性の疾患対策の充実……………		
(1) 難病患者地域支援対策推進事業（難病患者地域支援ネットワーク事業）……………		
(2) 特定疾患医療援護、特定医療費（指定難病）助成……………		
(3) 先天性血液凝固因子障害医療給付……………		
6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業……………		
(1) 被爆者健康手帳等交付状況……………		
(2) 被爆者健康診断受診状況……………		
7 石綿による健康被害の救済支援事業……………		
(1) 相談対応状況……………		
(2) 申請状況……………		
8 地域保健師業務連絡会議等実施状況……………		
(1) 地域保健師業務連絡会議……………		
(2) 管内保健師研究会……………		
(3) 定例連絡会……………		
(4) 代表幹事会……………		
9 保健師業務……………		
	第5章 保健・医療・福祉基盤づくりと連携	
	1 保健医療福祉計画の推進……………	84
	(1) 県央地区保健医療福祉推進会議……………	84
	(2) 地域医療構想調整部会……………	84
	(3) 地域医療対策……………	85
	(4) 地域・職域連携……………	85
	(5) 医療と介護の連携……………	86

2	保健医療福祉の基盤づくり	87
	(1) 保健衛生研修	87
	(2) 保健福祉事務所実習指導	87
	(3) 衛生、福祉統計・報告	88
	(4) 広報活動	88
	(5) 市町村への支援状況	89
3	適正な保健・医療・福祉等の確保	90
	(1) 医務	90
	(2) 病院・診療所定期立入検査	90
	(3) 医療関係相談	92
	(4) 介護保険	93
	(5) 免許取扱い数	95
	(6) 献血	95
	(7) 表彰	96
4	健康危機管理対策	98
	(1) 鳥インフルエンザ対策	98

## 第6章 資料

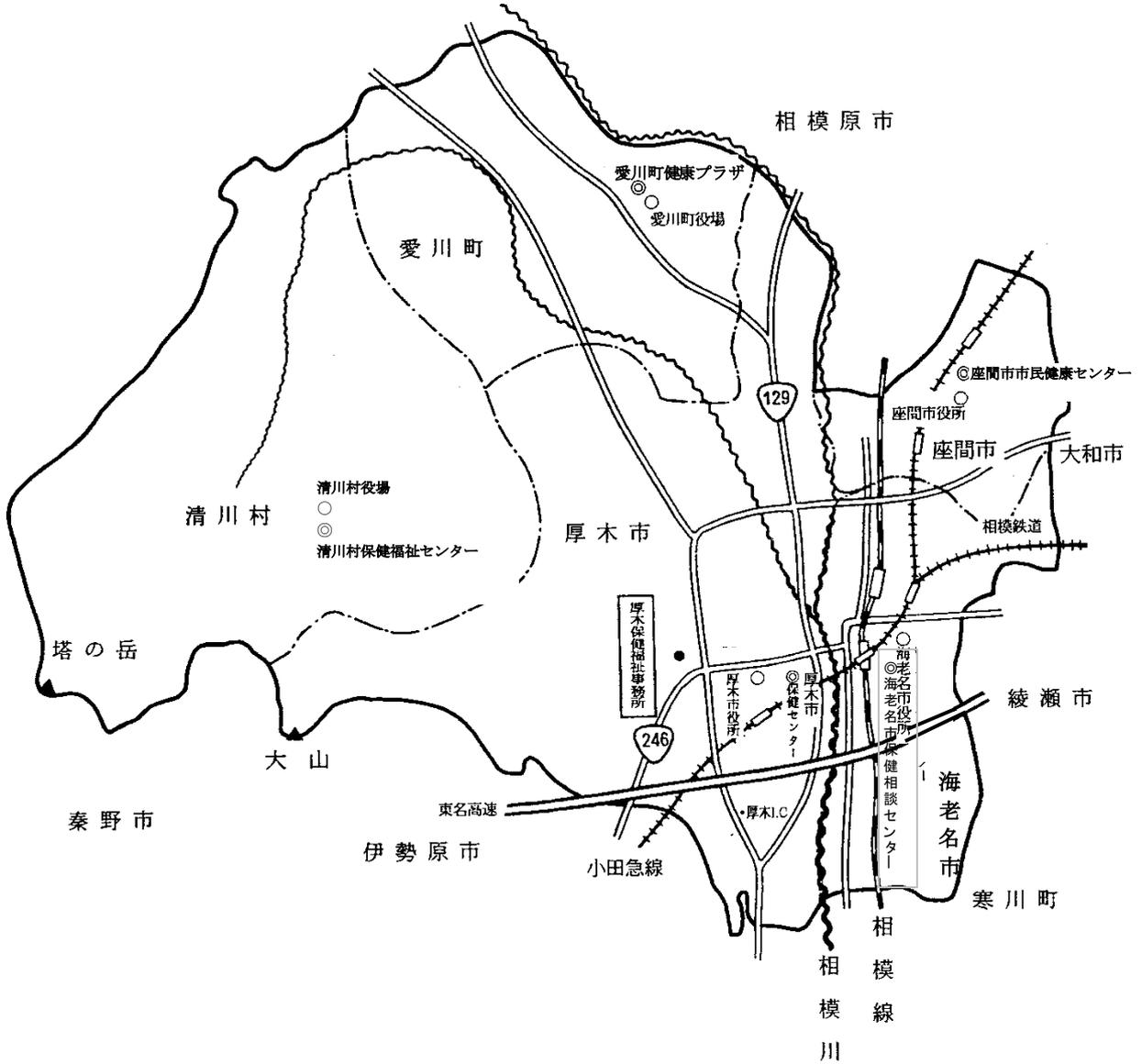
1	保健福祉事務所の沿革	99
	(1) 沿革	99
	(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長	101
	(3) 施設の状況	101
2	各種協議会委員一覧	102
	(1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿	102
	(2) 県央地区保健医療福祉推進会議地域医療構想調整部会委員名簿	103
	(3) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿	103
	(4) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿	103
3	地域保健推進特別事業	104
4	職員の研究・学会等発表	104

# 第1章 概 要

1 地域の概況	1
2 保健福祉事務所の概況	3

# 1 地域の概況

(1) 管内略図（平成 28 年 3 月現在）



## (2) 管内人口及び世帯数等

(平成28年4月1日現在)

区分	面積 (k m <sup>2</sup> )	世帯数	人 口			人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	1世帯当たり 人口
			総数	男	女		
厚木市	93.83	96,277	225,073	116,287	108,786	2,399	2.34
海老名市	26.59	53,811	130,537	65,639	64,898	4,909	2.43
座間市	17.57	56,078	128,575	64,347	64,228	7,318	2.29
愛川町	34.29	16,147	40,276	20,942	19,334	1,175	2.49
清川村	71.29	1,123	3,188	1,629	1,559	45	2.84
合 計	243.57	223,436	527,649	268,844	258,805	2,166	2.36

神奈川県人口統計調査結果「神奈川県の人口と世帯」(統計センター)より

## (3) 人口動態総覧

(平成26年)

	出生数	死亡数	乳児 死亡数	新生児 死亡数	死産数	周産期 死亡数	婚姻数	離婚数
厚木市	1,682	1,682	4	3	64	8	1,098	425
海老名市	1,045	863	3	-	27	6	672	181
座間市	930	1,080	3	1	23	2	667	283
愛川町	231	391	1	-	-	-	146	105
清川村	18	24	-	-	-	-	10	4
合 計	3,906	4,040	11	4	114	16	2,593	998

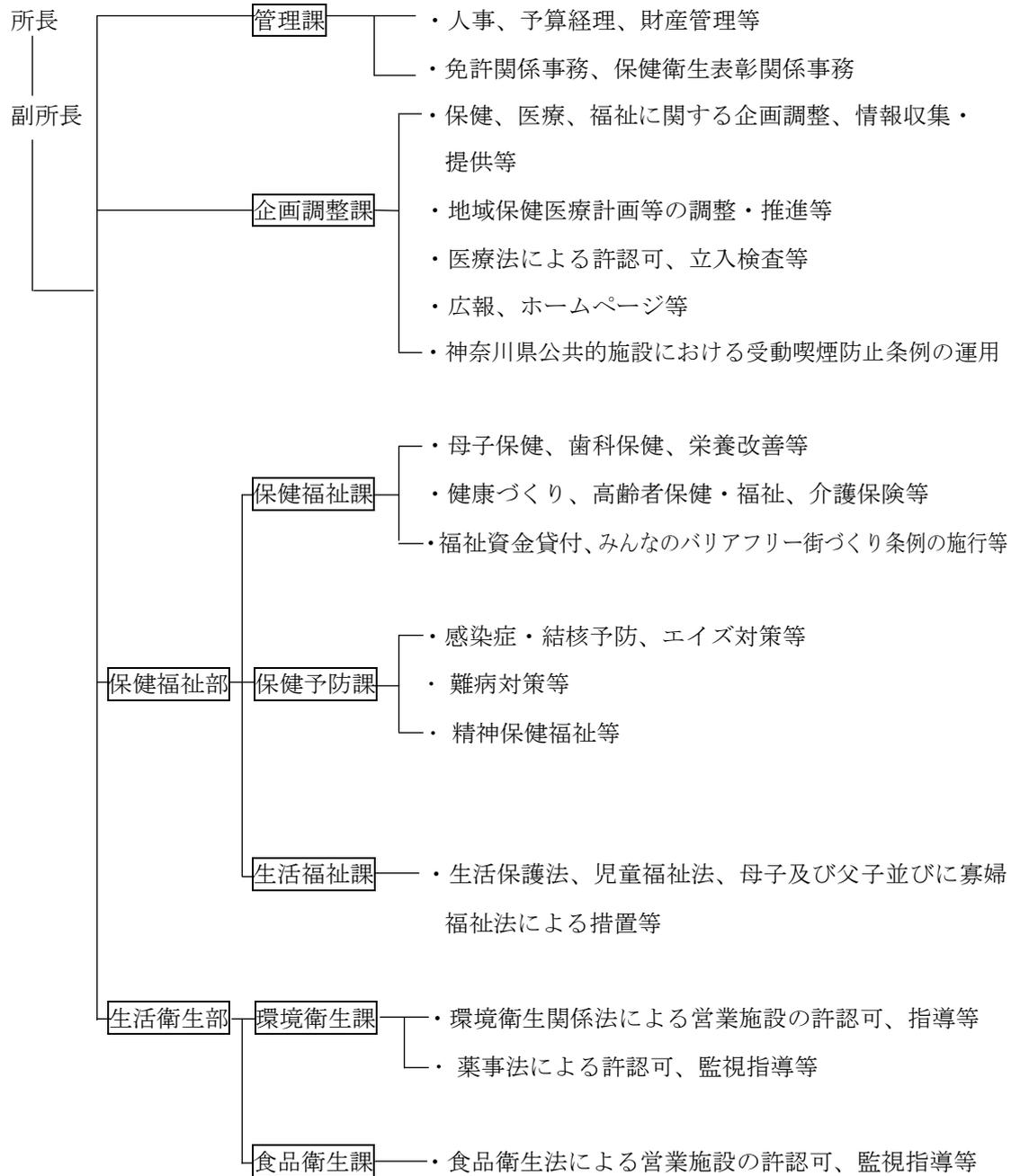
## (4) 医療関係施設

(平成28年3月31日現在)

区 分		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
医療施設 等	病 院	21	11	5	3	1	1
	一 般 診 療 所	328	154	90	61	21	2
	歯 科 診 療 所	238	109	58	59	11	1
	助 産 所	11	6	4		1	
	歯 科 技 工 所	91	51	19	13	6	2
薬事施設	薬 局	187	88	45	41	13	
	医 薬 品 販 売 業	189	117	30	32	10	
施術所	あんま・はり・きゅう	481	202	124	123	28	4
	柔 道 整 復	109	45	31	31	2	

## 2 保健福祉事務所の概況

### (1) 厚木保健福祉事務所の組織



## (2) 職種別職員配置状況

平成 28 年 3 月 31 日現在

	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 X 線 職	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 職	そ の 他	計	備考
所 長			1										1	
副 所 長	1									1			2	
部 長				1									1	
管 理 課	(2) 5										(1) 1		(3) 6	
企画調整課	(2) 6							1					(2) 7	
保健福祉課	(2) 6	1				(1) 1	3	6					(3) 17	
保健予防課	(1) 2	3	(5) 1					6				(1)	(7) 12	
生活福祉課		8	(2)									(6)	(8) 8	
環境衛生課									1	7			8	
食品衛生課										10			10	
合 計	(7) 20	12	(7) 2	1		(1) 1	3	13	1	18	(1) 1	(7)	(23) 72	

( ) は非常勤で外数

(3) 平成 27 年度決算

ア 収入状況

科 目 \ 年 度	平成27年度(円)	平成26年度(円)	比較増減 (円)
使用料及び手数料	31,861,870	29,014,140	2,847,730
寄 附 金	30,000	0	30,000
諸 収 入	5,630,198	4,321,511	1,308,687
合 計	37,522,068	33,335,651	4,186,417

イ 支出状況

(ア) 一般会計

科 目 \ 年 度	平成27年度 (円)	平成26年度 (円)	比較増減 (円)
総 務 費	40,755,092	36,840,310	3,914,782
(総務管理費)	(40,755,092)	(36,840,310)	(3,914,782)
民 生 費	577,798,195	571,452,797	6,345,398
(社会福祉費)	(67,730,466)	(67,626,926)	(103,540)
(児童福祉費)	(4,489,826)	(6,837,365)	(△2,347,539)
(障害福祉費)	(9,222,131)	(9,196,711)	(25,420)
(老人福祉費)	(613,107)	(625,446)	(△12,339)
(生活保護費)	(495,742,665)	(487,166,349)	(8,576,316)
衛 生 費	27,433,028	27,970,849	△537,821
(公衆衛生費)	(8,424,013)	(9,904,571)	(△1,480,558)
(環境衛生費)	(635,140)	(626,322)	(8,818)
(保健所費)	(16,733,976)	(16,534,956)	(199,020)
(医薬費)	(1,639,899)	(905,000)	(734,899)
県 民 費	4,147,715	4,087,590	60,125
(県 民 費)	(4,147,715)	(4,087,590)	(60,125)
合 計	650,134,030	640,351,546	9,782,484

(イ) 特別会計

科 目 \ 年 度	平成27年度 (円)	平成26年度 (円)	比較増減 (円)
母子父子寡婦福祉資金 会計	6,000	6,000	0

## 第2章

# 健康な地域づくりの推進

1 生涯健康対策の充実	6
2 感染症・結核対策の充実	36
3 メンタルヘルス対策の充実	46
4 認知症疾患対策の充実	52
5 難治性の疾患対策の充実	54
6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業	56
7 石綿による健康被害の救済支援事業	57
8 地域保健師業務連絡会議等実施状況	58
9 保健師業務	60
10 保健福祉サービス連携調整会議	61

## 1 生涯健康対策の充実

### (1) 禁煙・受動喫煙対策

#### ア 地域禁煙推進サポート事業

平成17年より、がんをはじめとする生活習慣病予防対策推進のため、生活習慣病の大きな要因である喫煙率の低下を目指し、教育、相談等の事業を実施しました。

##### (ア) 地域禁煙サポート教育

開催日	内 容	対 象	参加者数
4月28日	厚木ライオンズクラブ喫煙防止講演 講師養成研修	会員	18
11月18日	海老名市立海老名中学校 講演「たばこの正体 ～みなさんはどこまで知っていますか」	1年生および教職員	177
2月18日	厚木市立荻野中学校 講演「たばこの正体 ～みなさんはどこまで知っていますか」	1年生および教職員	251

##### (イ) 地域禁煙サポート相談（随時相談）

###### a イベント出張相談

開催日	内 容	対 象	参加者数
6月7日	愛の禁煙キャンペーン	海老名市民他	46
10月24日	スモーカーライザー体験、相談		44
7月1・2日	「清川村やまびこ健診」禁煙コーナー スモーカーライザー体験、相談	清川村民	4
9月8日	労働安全衛生推進大会	県央地区事業所 衛生管理者等	34

###### b 随時相談

件数	実数	延数
	2件	2件

イ 高校生への喫煙防止教育の実施

平成23年度までの3年間実施された「神奈川力まるごと活用事業」に引き続き、未成年者の喫煙防止対策を一層充実させるため、健康に深刻な影響を与えるたばこについて、高校生が適切な意思決定や行動ができるよう、希望する学校に対し、保健福祉事務所の医師や保健師による喫煙防止教育を実施しました。

平成 27 年度実施状況

学 校 名	実 施 日	対象者・数
厚木清南高等学校	9月24日	2年生 240

ウ 受動喫煙防止条例の推進

平成22年4月1日に施行された「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」について、施設管理者向け説明会、県民向け周知キャンペーン、条例の周知と施設の現状の確認を目的とした戸別訪問等に重点的に取り組みました。

(ア) 施設管理者向け説明会の実施

項 目	回数	参加者
各種講習会等合同説明会	27	683

(イ) 県民向け周知キャンペーン（チラシ等配布）の実施

項 目	回数	配布枚数
街頭キャンペーン	4	3,000
市町村健康まつり	3	800

(ウ) 戸別訪問等実施件数（市町村別延件数）

地 域	訪問等件数
厚木市	248
海老名市	321
座間市	147
大和市	266
綾瀬市	30
愛川町	44
清川村	13
相模原市	743
合 計	1,812

(エ) その他の周知活動

県央愛川農業協同組合有線放送出演、来所、電話相談への対応等

(2) 母子保健対策

ア 養育支援事業（平成17年度～）

小児慢性特定疾病児などの障害や疾病により長期に療養する子どもとその保護者等が、地域で健康な生活を送れるように、子どもの発育発達及び保護者等の養育を支援する事業を、医療・福祉・教育等の関係機関と連携しながら実施しました。

また、その支援の中で養育が不適切と判断された場合は、児童虐待予防の観点から、訪問、相談、児童相談所等への通告を行いました。

(ア) 訪問指導実施状況

区分 市町村名	実人数	延人数
総 数	47	135
厚 木 市	28	82
海 老 名 市	10	18
座 間 市	7	27
愛 川 町	2	8
清 川 村		

(イ) 所内指導実施状況

種別	実人数	延人数	指導方法		
			面接	電話	文書・メール
総 数	190	910	80	731	99
障 害 児	120	501	29	436	36
小 児 特 定	70	409	51	295	63

(ウ) 養育不適切な母子への支援(再掲)

a 対応状況

	訪 問	相 談
実人数	32	
延人数	20	192

b 対象者の年齢

対象人数	妊娠期	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上
32	2	2	1	9	5	5	7	1

c 内容

延人数	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	ネグレクト	その他の不適切養育
45	7	7		10	21

d 児童相談所・※市町村要対協への通告

実人数	1
-----	---

内容：ネグレクト

※市町村要保護児童対策地域協議会

## (エ) 集団指導

## a 養育支援教室

教室名	開催日	内 容	講 師 等	参加者数
小児慢性特定疾病講演会	9月5日	体験談 「慢性疾患児の子育て」 交流会	慢性疾患児を持つ母 訪問看護ステーションもみじ 看護師 今堀亜紀	親 4 子 5
	10月24日	講演 「親として、家族として できること～本人ときょう だい児へのよりよい関 わり方～」 交流会	東京女子医科大学 看護学部小児看護学 教授 日沼 千尋 訪問看護ステーションもみじ 看護師 矢向 美千世	親 8 子 8
	11月9日	講演 「心疾患の子どもを元気に 育てる～病気の経過と 過ごし方および成長・発 達に合わせた家族の関 わり方～」 「心疾患を抱える子ども の家族として思うこと」	神奈川県立こども医 療センター 医師 康井 制洋 全国心臓病の子ども を守る会神奈川県域 支部長 山口美はと	親 11 子 2 その他 3
ダウン症児教室 (親の会主催、 当所共催)	5月8日	チャイルドマッサージ	助産師 鈴木 あき	親 13 子 8 その他 2
	6月5日	歯科講話	さくら歯科 歯科医師 中村盛幸	親 14 子 8 その他 2
	7月22日	親子クッキング	食生活改善推進団体 あゆみ会	親 20 子 19 その他 9
	8月5日	親子でダンス	ダンス教室 講師	親 7 子 7 その他 1
	10月14日	講演・実技 「アロマでリフレッシュ」	日本チャイルドボディ ワーク普及協会セラ ピスト 岩下 祐子	親 16 子 6 その他 2

## b 親の会支援

教室名	回数	内 容	参加延人数
ダウン症児親の会 ひまわり会	7	情報交換・交流会 学習会・親子遊び	147

(オ) 養育困難事例検討会

開催日	内 容	講 師	参加者	参加者数
1月21日	事例検討 「児童虐待により受傷したケースの支援を振り返る」	杏林大学保健学部看護学科教授 大木 幸子	厚木市母子保健担当保健師 保健福祉事務所保健師	17

イ 周産期からの児童虐待予防のための保健医療福祉ネットワーク事業(平成25年度～)

周産期から地域全体で児童虐待予防を推進するため、医療機関、市町村、児童相談所及び保健福祉事務所による地域連携体制の確立を目指し、会議及び研修等を行いました。

(ア) 当事業により連携支援したケース数

ケース数	実人数	延数
	77	87

(イ) 会議

平成27年度より母子保健委員会実務担当者会議に位置づけました。(P16 参照)

(ウ) 情報交換会

市町村母子保健関係者及び医療機関(湘南厚木病院)との情報交換会を開催しました。

開催日	内 容	出席者	開催場所	参加者数
2月8日	1 湘南厚木病院産科の特徴について 2 市町村母子保健事業について 3 周産期リスクアセスメントシートの活用にあたっての意見交換 4 その他	院内職員 市町村母子保健担当者 児童相談所 SV および保健師 保健福祉事務所母子保健担当者	湘南厚木病院	23

(エ) 研修

開催日	内 容	講師	参加者	参加者数
2月26日	事例検討 ・産褥経過の中で精神症状が見られた事例 ・愛着形成がされているのかわかりにくい事例	あつぎ心療クリニック附属相州乳幼児家族心療センター 医師 寺岡菜穂子	管内市町村母子保健担当者・要対協担当者 産科医療機関担当者 保健福祉事務所担当者	41

ウ 生涯を通じた女性の保健相談等事業（平成10年度～）

女性は、妊娠、出産等固有の機能だけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身の悩みを抱えていることがあります。そのため、女性はその健康状態に応じ、的確に自己管理ができるよう相談及び健康教育等を実施しました。

(ア) 一般相談

総 数 (件)	相談方法			相談回数		相談者		主 訴 区 分								
	電 話	面 接	そ の 他	初 回 相 談	再 相 談	本 人	そ の 他	妊 娠	避 妊	不 妊 ・ 不 育 症	メン タル ケ ア	婦 人 科 疾 患	更 年 期	性 感 染 症	泌 尿 器	そ の 他
10	9	1		9	1	9	1	1				5			1	3

(イ) 健康教育

開催日	内容	講師	開催場所	参加者数
4月16日	みんなに知ってほしい「女性と男性の カラダのこと ～10年後のあなた のために～」	保健福祉事務所 保健師	厚木合同庁舎	看護学生 38
5月19日			東京農業大学	大学生 581
6月12日			厚木合同庁舎	当所職員 11
9月3日			厚木合同庁舎	看護学生 29
5月1日	自分を大切にすること	保健福祉事務所 保健師	紅梅学園	知的障がい者施設 入所者・職員 5
2月19日	働く人のためのハ ッピーライフプラ ンについて	かながわ健康財団 保健師 西村幸子	厚木看護専門 学校	看護学生・職員 104

(ウ) 普及啓発

開催日	内 容	配布数
11月7日	神奈川工科大学学園祭にて、ハッピーライフプランのリーフレットやライフプランニングシートを配布	300

エ 思春期保健事業（昭和62年度～）

思春期男女の心身の健全な成長と、将来の母性の健康増進を図ることを目的に、思春期特有の医学的問題、性に関する不安や悩み等に対して相談を実施しました。

総 数 (件)	相談方法			相談者			相 談 内 容 (延数)								
	電 話	面 接	そ の 他	本 人	父 母	そ の 他	身 体	性 に 関 す る こ と	妊 娠	結 婚	病 気	友 人 の こ と	家 族 の こ と	学 校 の こ と	そ の 他
2	2			1	1			1			1				

オ 不妊に悩む方への特定治療支援事業（平成16年度～）

指定医療機関で体外受精及び顕微授精を受けた場合の治療に要する費用の一部を助成しました。

総数(件)	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
586	232	171	148	32	3

カ 小児の医療援護

(ア) 小児慢性特定疾病医療費助成制度（平成27年1月～）

対象疾病に罹患し、対象基準を満たすと認められた18歳未満の児童（18歳到達時点で認定されており、かつ、その後も引き続き治療が必要と認められる場合には20歳未満まで更新可能）を対象に、医療費の一部を助成しました。

区分 市町村名	総数	悪性 新生物	慢性 腎疾患	慢性呼 吸器疾患	慢性 心疾患	内分 泌疾患	膠 原病	糖 尿病	先 天性代 謝異常	血 液疾 患	免 疫疾 患	神 経・ 筋疾患	慢 性消 化器 疾患	変 化を 伴う 症候 群	染 色体 又は 遺伝 子に	皮 膚 疾 患
厚木市	142	20	9	1	30	31	8	15	6	4	1	8	7	1	1	1
海老名市	93	17	5	1	20	25	4	4	2	2		7	5	1		
座間市	92	11	12		16	31	3	5	1	7		3	3			
愛川町	34	3	3		4	11	1	6	1	1		2	2			
清川村																
合計	361	51	29	2	70	98	16	30	10	14	1	20	17	2	1	1

(イ) 療育医療給付（昭和36年度～）

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行います。

申請なし

キ 母子保健委員会

(ア) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び市町村が実施する母子保健関連事業が円滑かつ効果的に行われるよう各種の母子保健関連業務の課題の検討や実績等の分析評価を実施し、母子保健施策の向上を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者数
2月9日	1 発達障がい児及びグレーゾーンの児と保護者への支援について 2 周産期からの児童虐待予防のための保健医療福祉ネットワークについて 3 平成28年度母子保健委員会・実務担当者会議開催計画(案)について	学識経験者 医師会 市町村母子保健主管課長 市町村児童福祉主管課長 児童相談所こども支援課長 保健福祉事務所長	22

(イ) 母子保健部会

開催日	内 容	構成員	出席者数
11月2日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各市町村における幼児健診から療育につながるまでの支援について</li> <li>2 妊娠出産包括支援事業の準備状況について</li> <li>3 健やか親子21(第2次)に基づく調査について</li> </ol>	市町村母子保健 担当保健師 児童相談所保健 師	16
11月30日	研修 「育てにくい子を育てる保護者への支援 ～ペアレントトレーニングの考え方を活用して～」 講師 ・発達支援研究所 Mana 代表者(臨床心理 士・保健師) 加藤 敦子 ・かながわA担当者 永田 恭子	保健福祉事務所 母子保健担当保 健師・企画調整課 担当者	22
1月26日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 周産期からの児童虐待予防のための保健                      医療福祉ネットワーク事業における今年                      度のケース支援状況及び取り組みについ                      て</li> <li>2 精神疾患を持つ妊産婦の支援について</li> <li>3 講演                      「周産期母子への精神科的支援                      ～相州乳幼児家族心療センターの取り組                      みから～」                      講師                      あつぎ心療クリニック付属相州乳幼児                      家族心療センター医師 寺岡 菜穂子</li> <li>4 意見交換</li> </ol>	学識経験者 管内周産期医療 機関担当者 市町村母子保健 主管課担当者 要対協主管課担 当者 児童相談所SVお よび保健師 保健福祉事務所 母子保健担当者 精神保健担当者 企画調整課担当 者	32

(3) 生活習慣病予防対策

ア 地域企業におけるがん検診受診促進事業（平成 23 年度～）

勤労者のがん検診受診促進に向けた啓発を目的として、地域の企業、事業所等を対象とした関係機関主催の研修会等で、講話、啓発を実施しました。

開催日	研 修 会 名	啓発方法	参加者数
7月～1月	介護保険事業所実地指導における啓発	健診受診勧奨説明	22 事業所
9月8日	労働衛生推進週間県央地区推進大会	啓発講話 リーフレットの配布	268
9月14日	厚木保健福祉事務所保健福祉課主催 救急法研修会	リーフレットの配布	30
12月18日	県央地区労務安全衛生集会研修	啓発講話 リーフレットの配布	29
1月21日	厚木保健福祉事務所保健予防課主催 働く人のメンタルヘルス研修会	リーフレットの配布	93
2月18日	地域職域連携推進会議ワーキング	啓発講話 リーフレットの配布	31

イ がん検診普及啓発セミナー（平成 24 年度～）

がん検診受診率の一層の向上を目指して、市町村、保健福祉事務所、NPO、関係団体等が協働して、がん検診受診の啓発活動を行いました。

(ア) がん検診普及啓発キャンペーン

月 日	内 容	対 象	啓発方法	参加者数
7月1日 2日	清川村やまびこ健康 まつり (清川村保健福祉センター)	やまびこ健診(特定健 康診査)と同時開催の 「健康まつり」に来所 された村民	がん予防啓発 ポスター掲示 クイズラリー 資料配布	78
11月1日	座間市健康まつり (座間市立座間中学校)	市民まつりと同時開催 の「健康まつり」に来 所された市民	乳がん自己触 診体験 リーフレット 配布	100

(イ) がん予防講演会

月 日	内 容	講 師	対 象	参加者
2月12日	愛川町町民健康講座 「がん体験談」	がん体験者 久光 重貴 (湘南バルマーレフトサ ル選手)	愛川町民	33

ウ 市町村健康増進事業の自己評価に係る担当者会議

開催日	内 容	構成員	出席者数
7月15日	1 管内市町村の生活習慣病対策に関する特徴的な取り組み等について 2 情報提供及び情報交換 ・かながわ保健指導モデル事業について ・肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップ体制の状況 ・健康普及員の活動について ・健康づくり講座のカリキュラム ・特定保健指導「積極的支援」を直営で実施している市町村の情報提供 ・その他	県央地区7市町村 健康増進主管課担当者 厚木保健福祉事務所 保健福祉課担当者 企画調整課担当者 大和センター 保健福祉課担当者 管理企画課担当者	21

エ かながわ保健指導モデル事業（平成25年度～平成27年度）

国民健康保険加入者のうち、特定健診データから糖尿病等の生活習慣病重症化の恐れのあるハイリスク者に対し、重症化予防のための効果的な保健指導方法を導き出す目的で、県健康増進課が海老名市・寒川町・大磯町と協働で実施しています。当所は海老名市を支援するために、保健師及び管理栄養士が参加しました。

支援グループ名	回 数	参加者数 (延)	当所支援職員数
生活習慣病グループ	2	63	保健師 2
糖尿病グループ	2	56	保健師 2 管理栄養士 1
生活習慣病・糖尿病合同グループ	2	123	保健師 4 管理栄養士 2
合 計	6	242	保健師 8 管理栄養士 3

(4) 食生活の対策

ア かながわ健康プラン21（第2次）栄養・食生活対策

(ア) 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域で総合的な食生活改善活動を効果的に推進していくことを目的として、食生活の実態把握・診断及びそれに基づく食生活改善方策、関連分野との連携について協議しました。

開催日	協議内容	構成員	出席者数
9月18日	・「若い世代からの食生活支援」取り組み状況に関する調査の結果について ・若い世代からの食生活支援対策の今年度の取り組み状況について ・若い世代からの食生活支援対策の今後の取り組みについて	産業医、厚木労働基準監督署、厚木地区給食協議会会長、工業団地協同組合常務理事、大学学生支援本部長、食生活改善推進団体会長 等	12

(イ) 若い世代への食生活支援体制づくり事業（平成21年度～）

当所ホームページの栄養・食生活ページの充実及び更新を行い、ツイッターを活用して積極的に情報発信をしました。

- a 大学生に向けた食生活情報「季節のお食（た）より」を年4回、管内の大学に向けて発行。新たにホームページに掲載開始。
- b 食堂を健康づくりに活かしている社員食堂や学生食堂をそれぞれ取材し、『気になる隣の社食ごはん』、『あつぎの学生食堂』と題したホームページを更新。
- c 若い世代の野菜摂取を促すことを目的に『野菜活動(やさかつ)のすすめ』と題したホームページを更新。
- d 若い世代、社員食堂、地域から野菜をたっぷり使ったレシピを集めた『MYA(まいや)さい飯』と題したホームページを更新。

(ウ) 栄養・食生活対策推進事業（平成18年度～）

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

内容	区分	集 団 指 導		対 象
		回数	延人数	
総 数		5 (1)	1103 (104)	
職域等と連携した生活習慣病予防対策		1	220	労働安全衛生担当者等
		(1)	(104)	事業所健康フェスタ（個別対応）
地域等と連携した生活習慣病予防対策		1	69	断酒会
		1	20	就労継続支援施設利用者
学校等と連携した食生活自立支援対策		1	581	大学新入学生
		1	213	県立高校定時制生徒（全学年）、 教職員

(エ) 栄養表示等適正化推進事業（平成8年度～）

健康づくりや生活習慣病予防のために、栄養表示基準制度の普及啓発と活用を推進するとともに、表示の適正化について指導・調査を行いました。

a 普及啓発講習会

対象	区分	回数	参加延人数	内 容
事業者		1	190	栄養表示基準制度の普及啓発
消費者		2	611	栄養表示の活用方法
その他		2	125	神奈川県食品の適正表示推進講習会他
合計		5	926	

b 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

対象	区分	食品表示法						合計	
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前 相談・ 指導	件数	10			1			11	
	延回数	13			1			14	
適正 化指 導	件数							0	
	延回数							0	

c 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区分		内容	健康増進法			合計
			特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件数			1	1	
	延回数			1	1	
適正化指導	件数				0	
	延回数				0	

d 消費者からの相談

食品表示法、健康増進法とも平成27年度はありません。

(オ) 専門的栄養指導・食生活支援事業（平成6年度～）

慢性疾患及び難病等や、養育上の課題を持つ児（未熟児や嚥下障害児等）及びその保護者に対し、個々に適応した相談を行いました。

また、食生活支援者に対し、研修会を開催しました。

a 専門栄養相談

疾病別（件）					
糖尿病合併症	脂質異常症・肥満合併症	肝・腎臓疾患	難病	高齢者等の低栄養	食物アレルギー
1	1	2	0	1	1

疾病別（件）	乳幼児（未熟児、嚥下障害等）（件）
その他	
13	30

b 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉等の関係者に対し、非常時に対応するための必要な備えについて研修会を開催しました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
9月10日	災害時の食事の提供に備える ～東日本大震災の事例から学ぶ～	神奈川工科大学 教授 松月 弘恵	45

(カ) 市町村支援

a 管内栄養改善業務連絡調整

保健福祉事務所と市町村の栄養改善業務の効果的推進及び共有化を図るため、会議を開催しました。

会 議 名	開 催 日	内 容
管内市町村 栄養改善業務 連絡調整会議 (担当者会議)	4月30日	・27年度栄養改善業務計画について ・摂食機能発達相談について
	9月25日	・事業の進捗状況について ・食生活改善推進員の養成・育成について ・食品表示制度について
	3月11日	・平成27年度の栄養改善業務について ・平成28年度栄養改善業務計画について

b 技術支援

市町村名	内 容
海老名市	「かながわ保健指導モデル事業」への支援

(キ) 地域保健活動推進研修（平成18年度～）

地域住民の健康の増進を目的とした栄養指導その他保健指導に必要な専門知識及び技術を修得するために県、市町村等の地域保健担当者を対象に研修を行いました。

開催日	内 容	講 師	参加者数
12月17日	1 事例発表 「保育所における食育活動について」 海老名市保育園食育計画、保育園の状況、各年齢の食育のねらい、離乳に関して、食物アレルギー等について 2 情報交換会	海老名市子育て支援課 管理栄養士 岡田 卓子	18

(ク) 人材育成

a 食生活改善推進団体あゆみ会の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善の自主的な実践活動や県の委託事業を展開するための育成指導を行いました。

指導回数	延人数	備 考
7	273	定例会・研修会

b 在宅栄養士の育成

市町村をはじめ地域で食生活改善活動を行っている在宅栄養士会の育成支援を行いました。

回数	延人数	備 考
1	12	フリー栄養士の会定例会

(ケ) 国民健康・栄養調査（昭和20年度～）

実施地区	対象世帯数	実施世帯数	実施人数	内 容
海老名市杉久保北	26	22	45	・栄養摂取状況調査 ・身体状況調査 ・生活習慣調査

イ 特定給食等指導事業（昭和 27 年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づく特定給食施設等に対し、講習会や実地指導等により必要な指導・助言を行い、利用者の健康づくりを推進しました。

また、給食施設栄養管理報告書により栄養管理状況の把握を行うとともに、栄養管理の充実を図りました。

(ア) 特定給食施設等講習会

区分	実施回数	開催日	内容	講師	参加施設数	参加者数
総数	3				309	376
（会場…厚木市総合福祉センター） 全体講習会	2	6月17日 6月24日	講話(1)「衛生管理～食中毒予防について～」	厚木保健福祉事務所 食品衛生監視員	296	346
			講話(2)「食事摂取基準に基づいた望ましい献立や料理のあり方を考える」	文教大学 健康栄養学部 管理栄養学科 講師 目加田 優子		
		厚木地区給食協議会 社員食堂ヘルシーメニューパネル展示				
（事業所） 種別講習会	1	2月23日	(1)講演「社食の力～現状の課題を考える」 (2)情報交換	エームサービス（株） 東日本営業開発部 シニアマネージャー 國分 葉子	13	30

## (イ) 健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

区 分		管理栄養士のみいる	栄養士のみいる	どちらもいる	どちらもいない	延指導件数
		施設数	施設数	施設数	施設数	
管理栄養士配置施設①	学 校					
	病 院	1	0	6	0	7
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	8	0	6	0	19
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
	合 計	9	0	12	0	26
1回300食以上又は1日750食以上②	学 校	18	11	8	3	38
	病 院			1		1
	介護老健					
	老人福祉					
	児童福祉					
	社会福祉					
	事業所	1	3	0	3	7
	寄宿舎					
	自衛隊					
	その他					
合 計	19	14	9	6	46	
1回100食以上又は1日250食以上③	学 校	7	3	0	5	15
	病 院	1	0	7	0	9
	介護老健	2	0	8	0	6
	老人福祉	8	0	9	0	16
	児童福祉	2	10	4	12	28
	社会福祉	0	1	6	0	4
	事業所	4	3	1	21	45
	寄宿舎	0	0	0	0	0
	自衛隊	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	0	4
合 計	25	18	36	38	127	
その他の給食施設	学 校	0	0	0	0	0
	病 院	2	0	3	0	7
	介護老健	1	0	1	0	2
	老人福祉	1	2	8	0	10
	児童福祉	6	19	5	14	41
	社会福祉	3	2	1	1	6
	事業所	0	1	0	19	20
	寄宿舎	0	0	0	1	2
	自衛隊	0	0	0	0	0
	その他	0	4	1	16	24
	合 計	13	28	19	51	112

(ウ) 給食施設栄養管理報告書の提出状況

区 分	対象施設数	提出施設数	電子届出数 (再掲)
学 校	55	55	0
病 院	21	21	8
介 護 老 健	12	12	2
老 人 福 祉	28	27	16
児 童 福 祉	72	69	33
社 会 福 祉	14	14	10
事 業 所	70	68	9
寄 宿 舎	1	1	0
そ の 他	24	22	0
合 計	297	289	78

※老人福祉、児童福祉、その他で平成 27 年後半に開始した施設は提出なし

※事業所で平成 27 年途中で廃止した施設は提出なし

(5) 歯科保健対策

ア 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業 (平成 7 年度～)

市町村実施の 1 歳児歯科教室、1 歳 6 か月児歯科健診、2 歳児歯科健診でう蝕ハイリスク要因を保有し、継続的な歯科保健指導等が必要と認められる幼児と保護者に対して、歯科健診、歯科保健指導、う蝕予防処置等を行いました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数			予防処置者等数				
	初診	再診	合計 (延人数)	フッ素 塗布者数	フッ化ジアン ミン銀塗布者数	フッ素 液磨き	R D テスト	合計 (延人数)
54	207	302	509	215	311	3		529

(イ) 初診者の把握経路

区分 市町村名	市 町 村 事 業 (人)				保 健 福 祉 事 務 所 事 業 (人)	合 計
	1 歳児歯科教室	1 歳 6 か月児健診	2 歳児健診	その他		
厚 木 市	1	6	28	3		38
海老名市		15	19			34
座間市	6	36	39	2		83
愛川町	1	10	18			29
清川村				23		23
合 計	8	67	104	28		207

(ウ) 初診者のう蝕有病状況

把握事業名	区分	受診者数 (人)	う蝕の状況(人)		
			う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
1 歳 児 歯 科 教 室		8	1	1	6
1 歳 6 か 月 児 健 診		67	11	11	45
2 歳 児 健 診		104	27	29	48
そ の 他		28	3	4	21
保 健 福 祉 事 務 所 事 業					
合 計		207	42	45	120

イ 歯周疾患予防対策事業（歯ぐきのセルフチェック講座）（昭和 63 年度～）

20歳～30歳代の者に対して、歯周疾患予防及び進行防止のためのセルフケア技術・生活習慣に関わる知識を普及し推進しました。

希望者なし

ウ 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業（平成 9 年度～）

在宅で療養する難病患者、障害児者等の歯科疾患予防及び誤嚥性肺炎などの全身疾患予防のために、歯科健診、口腔観察、歯科保健指導又は口腔ケアを行い、必要に応じて予防処置又は口腔諸機能の訓練を行いました。

(ア) 被訪問者数

被訪問者状況		年齢		6 歳以下		7 ～ 19 歳		20 ～ 39 歳		40 ～ 64 歳		65 歳以上		合計	
		※	※	※	※	※	※	※	※	※	※				
新 規 経 路 別 者	保 健 福 祉 事 務 所 事 業	1	(1)											1	(1)
	市 町 村 事 業														
	家 族 依 頼														
	そ の 他														
前年度からの継続		1	(1)											1	(1)
被訪問者実数		2	(2)											2	(2)
被訪問者延数		3	(2)											3	(2)

※ 各年齢区分欄の右側：( )内は、身障・療育手帳保持者（再掲）

(イ) 全新規者の疾患状況

疾患名	年齢					合計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
慢性疾患児・障害児	2					2
特定疾患者						
脳血管障害後遺症者						
認知症疾患者						
その他						
合計	2					2

エ 障害児者等歯科保健事業（昭和59年度～）

障害児者や家族等に対し、歯科疾患予防、口腔機能の維持・向上等に関する指導と摂食機能発達支援を保健師・栄養士とともに行いました。

(ア) 歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数		受診者数		実施内容内訳（延数）			
		実数	延数	口腔内 診 査	歯科保 健指導	予 防 処 置	R D テ ス ト
個別	65	44	121	153	127	57	
集団	6	26	47		27		
計	71	70	168	153	154	57	0

※集団（知的障害者通所施設1件×2回、座間市歯科医師会摂食事業2回）

(イ) 摂食機能発達支援（再掲）

区分	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村
実人数	17	6	19	1	
延人数	42	8	36	2	0

オ 健康教育

区分	日 時	対 象 (場 所)	内 容	講 師	参加者数
母子	6月11日	座間市サニーキッズ 通園児 (サニープレイス座 間)	う蝕予防	座間市歯科医師会 当所歯科衛生士	4
	7月23日			当所歯科医師 当所歯科衛生士	8
成人	8月19日	神奈川中央交通 運転士 (神奈川中央交通 厚木営業所)	歯周疾患予防 う蝕予防	当所歯科衛生士	13
	10月4日	介護フォーラム (レンブラントホテ ル厚木)	口腔機能向上	当所歯科医師 8020 運動推進員	50
	10月29日	食生活改善推進員 養成講座 (座間市市民健康セ ンター)	歯周疾患予防	当所歯科衛生士	10
	1月30日	座間市健康文化都市 大学 (座間市市民健康セ ンター)	歯周疾患予防 う蝕予防 口腔機能向上	当所歯科衛生士	46
その他	9月24日	就労継続支援B型事 業所いぶき利用者 (座間市立生きがい センター)	う蝕予防、 口腔機能向上	当所歯科衛生士 座間市歯科医師会	14
	3月17日	就労継続支援B型事 業所いぶき利用者 (座間市立生きがい センター)	う蝕予防、 口腔機能向上	当所歯科衛生士 座間市歯科医師会	13

カ 人材の育成（研修・講習会）

研修・講習会名 (場所)	開設回数	延参加者数	内 容
厚木管内在宅 歯科衛生士勉強会	7	65	・母子歯科保健について ・ゲートキーパーについて ・在宅歯科診療について
管内歯科衛生士 見学実習	7	10	・う蝕ハイリスク児歯科検診の見学 ・8020 運動推進員育成研修
8020 運動推進員 支援	3	12	地域で活動するにあたり、推進員が必要と している支援及び助言を行う
厚木歯科医師会 広域災害での救急歯 科医療活動研修会 (厚木歯科医師会 事務局)	1	18	厚木歯科医師会会員に対し、災害時医療救護 活動についての研修
厚木歯科医師会 地域歯科医療連携 活動研修会 (厚木歯科医師会 事務局)	1	7	厚木歯科医師会会員に対し、地域歯科医療連 携活動についての研修
あつぎ介護フォー ラム '15 (レンブラントホ テル厚木)	1	50	専門職及び一般住民へ、口腔機能及び口腔 衛生についての講演
歯科保健行政研修 (新採職員向け)	1	2	新規採用歯科職員へ対する当所管内地域 の特色及び事業説明

キ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

(ア) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会（平成15年～）

保健福祉事務所管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換し、歯科保健事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的として開催しました。

開催日	内 容	構成員	出席者数
1月21日	(1) 厚木保健福祉事務所管内における歯科保健事業の現状についての報告 (2) 担当者会議よりの報告（母子歯科保健事業、成人・高齢者等歯科保健事業） (3) 管内市町村の母子歯科保健に従事する在宅歯科衛生士の人材育成について (4) 各市町村健康づくり等計画における現在歯数実態調査について (5) 8020運動推進員の活用と新たな人材育成について (6) 県における新規歯科保健事業「地域口腔ケア連携推進事業」について	厚木・海老名市・座間市歯科医師会、管内歯科衛生士会 各市町村関係課長と担当者 8020運動推進員、 学識経験者（大学教授） 保健福祉部長、保健福祉課長 歯科衛生士、管理栄養士	26

(イ) 母子歯科保健に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者数
8月31日	(1) 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（母子・障がい児等）の進捗状況について (2) 重度う蝕ハイリスク児選出基準の活用について (3) 管内市町村の母子歯科保健に従事する在宅歯科衛生士の人材育成について (4) 市町村における乳幼児歯科健康診査の集計について	各市町村担当者、 保健福祉部長 保健福祉課長 歯科衛生士 管理栄養士 保健師	11

(ウ) 成人・高齢者歯科保健に関する部会（平成24年～）

開催日	内 容	構成員	出席者数
10月22日	(1) 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（成人・高齢者等）の進捗状況について (2) 各市町村健康づくり等計画における現在歯数実態調査について (3) 各市町村における成人歯科健康診査の現状と国のマニュアル改定について (4) 介護予防及び在宅医療・介護連携の推進における歯科・口腔保健の現状について (5) 8020 運動推進員の活用と新たな人材育成について (6) 県における新規歯科保健事業「地域口腔ケア連携推進事業」について	各市町村担当者 保健福祉部長 保健福祉課長 歯科衛生士 管理栄養士 保健師	16

ク フッ化物洗口普及啓発事業（平成18年度～）

う蝕予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、フッ化物洗口の説明を行いました。

実施回数	参加者数
5	10

ケ 歯の健康づくり事業（平成27年度～）（国庫補助事業）

県民の歯の健康の保持を推進させるため、「健康かながわ5か条」の普及を行いました。

普及対象	母子	学童生徒	成人	老人	その他	不明	計
件数	12		119				131

コ 8020 運動推進員養成事業（平成23年度～）

8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する 8020 運動推進員の育成を行いました。

(ア) 育成研修（フォローアップ研修）の開催

神奈川県の養成研修を受けた推進員を対象に、管内市町村、関係団体、所内職員と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるように研修を行いました。

a 育成研修受講者数

8020 運動推進員		受講者の背景				
		健康普及員	食生活改善 推 進 員	介護予防 サポーター	その他	計
厚木市	1期生 ～ 3期生	4				4
	5期生	4	4			8
海老名市	1期生 ～ 3期生	8				8
	4期生	4				4
座間市	1期生 2期生	1		3		4
	5期生	1				1
愛川町	1期生 2期生		3			3
	4期生		1		3	4
清川村	1期生 ～ 3期生					0
	4期生				1	1
計	1期生 ～ 3期生	13	3	3		19
	4期生	4	1		4	9
	5期生	5	4			9

b 育成研修内容

開催日	内 容	講 師	参加者数		
			1期生 ～ 3期生	4期生	5期生
5月21日	講義 「唾液と嚥下のしくみ お口きれい＝病気の予防」 実習 各自作成した媒体を使い実演	当所歯科医師 歯科衛生士	8	8	
7月21日	講義 「言葉と食事とくち体操」 実習 媒体づくり	当所歯科医師 歯科衛生士	3	5	
8月20日	交流 『は・は・歯フォーラム』 講義 「歯周病と全身疾患」 実習 知って納得！知ってドッキリ！ 歯科クイズ、情報交換	海老名総合病院 歯科医師	11		
9月17日	講義 「大規模災害と歯科口腔保健」 実習 ブラッシングストレッチ	当所歯科医師 歯科衛生士	6	3	
11月26日	講義 「くち体操総集編 8020運動と推進員」 実習 卒業発表会	当所歯科医師 歯科衛生士	1	4	8
3月10日	講義 「口と脳神経 口と味わい」 実習 媒体づくり	当所歯科医師 歯科衛生士	2		8
合 計	研修開催回数 6回（交流会1回含）		31	20	16

c 育成研修修了者

4期生8名に修了証交付

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	計
修了者(人)		4		4		8

(6) 救急法普及啓発事業

A E Dの使用を含めた救急法の普及啓発することを目的に、講習会を実施しました。

開催日	内 容	講 師	対象者	参加者数
9月14日	講義及び実習 「救急法講習会」	厚木消防本部 救急救命士	介護保険サービス 事業所職員等	30

## 2 感染症・結核対策の充実

### (1) 感染症対策会議（平成 24 年度～）

地域における感染症対策を推進するため、包括的な感染症対策会議として開催しました。

開催日	内 容	構 成 員	出席者数
7 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度感染症対策会議実績及び平成 27 年度計画</li> <li>感染症発生状況</li> <li>エボラ出血熱、中東呼吸器症候群（MERS）の対応等について</li> </ul>	医師会、病院協会、 感染症指定医療機関 高齢者施設、市町村、 教育機関等	24

### (2) 結核予防事業

平成19年3月31日で結核予防法が廃止され、結核は、平成19年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の2類感染症になりました。

#### ア 結核健康診断

##### (ア) 管理検診状況（昭和47年度～）

再発防止のために、結核治療終了後必要な患者に検診を実施しました。

受 診 者 数 (実)		受 診 結 果 (実)		
保健福祉事務所	医 療 機 関	要 医 療	経 過 観 察	観 察 不 要
0	1	0	1	0

##### (イ) 接触者健康診断状況（昭和47年度～）

患者が感染源となって接触者に感染させた疑いのある場合に家族及び接触のあった者に健診を実施し、感染者の発病予防、発病者や感染源の早期発見に努めました。

受 診 者 数 (実)		受 診 結 果 (実)		
保健福祉事務所	医 療 機 関	要 医 療	発病の恐れのある者	異 常 な し
231	24	0	※20	235

※うち2名はQFT判定不可のため医療機関紹介し、経過観察中

イ 患者指導

(ア) 保健指導 (延)

訪問指導	所内指導	文書指導
168	1303	77

(イ) 定期病状調査

治療終了後の経過観察者の適切な患者管理に資するために、医療機関へ定期病状調査を実施しました。

調査件数	66
------	----

(ウ) 服薬支援事業 (平成20年度～) (延)

結核患者の確実な抗結核薬の服用により、結核の早期治癒・およびまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防するため、服薬支援 (DOTS) を実施しました。

訪問DOTS	面接DOTS	電話等DOTS
21	40	378

ウ 感染症診査協議会結核部会 (平成19年度～)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条により、同法第18条に基づく就業制限、第19・20条に基づく入院勧告及び第37条の2に基づく公費負担の医療申請内容の適否について診査・協議するため、専門委員により毎月2回 (原則第1・第3水曜日) 開催しました。

診査件数

区分	18条	19条	20条	37条の2							
				小計	被用者保険		国保	後期高齢	生活保護	国保退職本人	その他
					本人	家族					
申請件数	21	21	69	159	40	12	40	54	12		1
医療内容合格	21	21	69	155	39	12	38	53	12		1
医療内容不合格				2			2				
保留				2	1			1			

エ 研修

結核医療従事者研修(平成8年度～)

月 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
9月28日	結核の基礎と施設における対応	国立国際医療研究センター国際医療協力局 平山隆則氏	厚木合同庁舎	65

オ 結核患者の状況

(ア) 登録患者数

a 年末現在登録患者数(活動性分類別・受療状況・市町村別)

(平成27年12月31日現在)

区 分	総 数	活 動 性 結 核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症(別掲)		
		肺 結 核 活 動 性			肺外結核活動性	治療中			観察中		
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性							
		登録時初回治療	登録時再治療								
平成25年	176	16	1	19	6	13	112	9	8	58	
平成26年	174	15		13	13	24	96	13	19	32	
平成27年	172	9		19	7	10	113	14	17	40	
受療別	入院	5	4		1						
	在宅医療	33	5		11	7	10		17		
	経過観察	124					113	11		40	
	不明	10			7			3			
市町村別	厚木市	82	3		7	5	3	56	8	7	19
	海老名市	40	2		7	2	4	22	3	3	9
	座間市	33	4		4		2	23		4	7
	愛川町	17			1		1	12	3	3	5
	清川村										

b 年末現在登録患者数（年齢階級別・活動性分類別）

（平成27年12月31日現在）

区 分	総 数	活 動 性 結 核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症（別掲）	
		肺 結 核 活 動 性			肺外結核活動性	治療中			観察中	
		登録時喀痰塗抹陽性		登録時その他の結核菌陽性						登録時菌陰性・その他
		初回治療	再治療							
総 数	172	9		19	7		10	113		14
0～4歳									1	5
5～9										
10～14										2
15～19										
20～29	13			2	1		10		1	3
30～39	24			2	1	1	17	3	2	6
40～49	19	3		2	1	1	10	2	2	9
50～59	22	1		2	3		13	3	4	7
60～69	22			2	1	1	17	1	3	7
70歳～	72	5		9		7	46	5	4	1

(イ) 新登録患者数（年齢別階級別・活動性分類別・市町村別）

（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

区 分	総数	活 動 性 結 核					潜在性結核（別掲） 治療中	
		肺 結 核 活 動 性			肺外結核活動性			
		喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性・その他		
		初回治療	再治療					
平成25年	72	26	1	20	9	16	14	
平成26年	86	19		22	16	29	23	
平成27年	71	22		24	12	13	26	
0～4歳							2	
5～9								
10～14								
15～19								
20～29	5			2	3			
30～39	6	1		2	2	1	3	
40～49	8	4		3	1		3	
50～59	5	2		1	2		8	
60～69	10	2		2	3	3	5	
70歳以上	37	13		14	1	9	5	
市町村別	厚木市	32	10		8	11	3	11
	海老名市	20	2		10	1	7	5
	座間市	13	6		5		2	5
	愛川町	6	4		1		1	5
	清川村							

(ウ) 結核登録率の推移（人口10万対・概数）

年	神奈川県		管内	
	登録数	登録率	登録数	登録率
昭和 40	58,172	1,312.9	1,603	1,137.8
50	31,581	493.6	1,038	374.6
60	14,368	193.3	462	113.5
平成 7	9,798	118.8	290	59.6
22	4,237	46.8	209	39.7
23	4,275	47.2	223	44.2
24	4,008	44.2	172	32.6
25	3,692	40.7	176	33.3
26	3,556	39.1	174	33.0
27	—	—	172	32.6

(エ) 結核り患率の推移（人口10万対・概数）

年	神奈川県		管内	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率
昭和 40	12,617	284.8	—	—
50	4,700	73.5	134	48.3
60	2,869	38.6	78	19.2
平成 7	2,496	30.3	101	20.7
22	1,577	17.4	72	13.7
23	1,561	17.2	92	17.5
24	1,395	15.4	59	11.2
25	1,353	14.9	72	13.6
26	1,329	14.6	86	16.3
27	—	—	71	13.4

(オ) 結核有病率（人口10万対）

年	神奈川県		管内	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
昭和 40	26,772	929.9	793	562.7
50	17,880	279.5	597	215.4
60	5,944	80.0	194	47.6
平成 7	3,559	43.2	112	23.0
22	1,350	14.9	82	15.6
23	1,310	14.5	82	15.6
24	1,022	11.3	40	7.6
25	913	10.1	55	10.4
26	937	10.3	65	12.3
27	—	—	45	8.5

(参考) 平成27年10月1日現在

県人口9,127,323人 管内人口528,013人

※平成9年以前は非定型抗酸菌陽性患者を含む

(3) 感染症予防事業

ア 感染症発生及びまん延予防

平成28年2月5日に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令及び検疫法施行令の一部を改正する政令が公布され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が4類感染症となりました。

また、必要に応じて調査及び健康診断を行いました。

(ア) 発生状況

分類	病名	発生件数	接触者数	便検査	病原体保有者	海外渡航先
1類						
2類	結核（別記）					
3類	細菌性赤痢	1	4	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	8	9	9		
4類	E型肝炎	1	/	/	/	/
	デング熱	2				
	レジオネラ症	4				
5類	アメーバ赤痢	2				
	後天性免疫不全症候群	5				
	侵襲性肺炎球菌感染症	10				
	梅毒	6				
	風しん	1				
	その他	2				

(イ) 同行者・関係者検病調査実施件数

分類	病名	調査数	接触者	便検査	患者	病原体保有者
3類	腸管出血性大腸菌感染症等	1	1	1	0	0
4類	レジオネラ症	2	0	0	0	0

(ウ) 社会福祉施設における集団発生の調査・指導件数

施設種別	件数	備考 ※数字は発生件数
高齢者施設	8	インフルエンザ 5 感染性胃腸炎 1 その他 2
障がい者施設	7	インフルエンザ 1 感染性胃腸炎 4 その他 2
保育所	6	インフルエンザ 6

(エ) 健康教育

開催日	内 容	対 象 者	参加者数	講 師
6月25日	施設において注意が必要な感染症	飯山小学校職員、保護者	40	医師 保健師
9月25日	感染症予防研修会	地域保健師業務連絡会議出席者等	32	保健師
11月5日	感染症予防研修会	障害児者施設職員	23	医師 保健師
11月27日	施設において注意が必要な感染症	座間市小規模施設連絡協議会	59	保健師

(オ) 感染症発生動向調査事業（昭和56年度～）

昭和56年7月から18疾病を対象に開始された本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の施行に伴い、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への的確な提供・公開について、法による施策として位置づけられました。

定点把握対象の5類感染症については、患者情報等を収集するため、定点医療機関をあらかじめ選定しています。

- a 定点把握対象疾病 26疾病
- b 定点医療機関
  - (a)インフルエンザ定点 17か所（うち11か所は小児科定点が兼任）
  - (b)小児科定点 11か所
  - (c)眼科定点 3か所
  - (d)STD定点 4か所
  - (e)基幹定点 1か所

(カ) インフルエンザ施設別発生状況調査（昭和48年度～）

インフルエンザ様疾患による学校・学級閉鎖状況

区 分	平成27年度					平成26年度				
	施設数	閉 鎖 数			欠席者数	施設数	閉 鎖 数			欠席者数
		学級	学年	施設			学級	学年	施設	
総 数	191	177	14		1,912	93	83	10		842
幼稚園	12	10	2		113	1	1			8
小学校	149	140	9		1,536	81	71	10		729
中学校	29	26	3		255	11	11			105
その他の学校	1	1			8					

※閉鎖を実施した施設数となっています。

(4) 性感染症予防（昭和23年度～）

性感染症予防・啓発

性感染症（エイズを含む）の正しい知識の普及のために、中学生・高校生を対象に青少年エイズ性感染症予防のための講演会を開催しました。

青少年エイズ・性感染症予防講演会の開催状況（昭和40年度～）

実施日	実施校名	参加者		講師
		(学年)	(人数)	
6月17日	厚木市立森の里中学校	3	78	当所 医師
6月25日	海老名市立有馬中学校	3	198	当所 保健師
6月26日	厚木市立睦合中学校	2	164	当所 保健師
7月1日	海老名市立柏ヶ谷中学校	3	261	当所 医師
7月2日	海老名市立大谷中学校	3	193	当所 医師
10月21日	厚木市立東名中学校	2	70	助産師 井上和美
10月22日	厚木市立林中中学校	2	136	助産師 渡辺ふみこ
10月27日	厚木市立小鮎中学校	3	112	助産師 渡辺ふみこ
11月17日	厚木市立藤塚中学校	3	134	当所 保健師
12月17日	厚木市立相川中学校	3	94	助産師 井上和美
2月19日	海老名市立今泉中学校	2	190	当所 保健師
2月25日	座間市立西中学校	3	183	当所 医師
3月1日	座間市立東中学校	3	233	当所 保健師
3月2日	座間市立南中学校	3	113	当所 保健師
3月3日	清川村立緑中学校	3	18	当所 保健師
3月3日	座間市立座間中学校	3	154	助産師 渡辺ふみこ
3月4日	海老名市立海老名中学校	3	151	当所 保健師
3月4日	厚木市立厚木中学校	3	271	助産師 渡辺ふみこ
3月7日	厚木市立玉川中学校	3	144	当所 医師
3月8日	厚木市立南毛利中学校	3	241	当所 保健師
3月10日	厚木市立荻野中学校	3	202	当所 医師
3月11日	海老名市立海西中学校	3	214	当所 医師
中学校 小計 22校		3,554人		
6月12日	相模向陽館高等学校 午前部	2	134	当所 保健師
6月12日	相模向陽館高等学校 午後部	2	127	当所 保健師
6月23日	座間高等学校	1	278	当所 保健師
7月2日	中央農業高等学校	1	195	当所 医師
7月3日	座間総合高等学校	1	240	当所 保健師
7月31日	厚木清南高等学校 定時制	1～4	230	助産師 渡辺ふみこ
9月25日	厚木清南高等学校	1	270	助産師 渡辺ふみこ
10月16日	厚木高等学校	2	357	当所 保健師
11月16日	愛川高等学校	3	207	当所 医師
高等学校 小計 9校		2,038人		
11月20日	座間養護学校 有馬分教室	1～3	41	当所 保健師
1月25日	座間養護学校 相模向陽館分教室	2～3	10	当所 保健師
特別支援学校 小計 2校		51人		
合計 33校		5,643人		

(5) エイズ予防事業

ア エイズ予防・啓発（平成5年度～）

エイズの正しい知識の普及・啓発とエイズに対する偏見や差別のない社会の実現を目指して啓発用チラシやパンフレットの配布を行いました。

各種イベントへの参加による啓発

実施日	イベント名	内容	配布部数
11月7日	神奈川工科大学 「幾徳祭」	・ポスターパネルの展示、小冊子・グッズの配布	300

イ エイズ検査・相談(昭和61年度～)

エイズの感染予防及び県民の不安や疑問に対応するため、昭和62年2月からエイズの抗体検査を行っています。また、昭和61年4月から保健所に相談窓口を設置し、相談に応じています。平成18年6月以降、即日検査を実施しています。

(ア) エイズ相談・検査実施の推移

	昭和62	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
相談	152	575	551	768	711	837	400	529	585	558	542
検査	113	262	349	425	289	273	220	220	266	239	234

(イ) 平成27年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

性別 \ 年齢	総計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男	148	6	40	50	28	16	8
女	86	11	34	22	16	3	0
計	234	17	74	72	44	19	8

(6) 肝臓疾患対策事業（平成7年度～）

ア B型(抗原)・C型(抗体)肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎の重症化防止等のためにB型及びC型の肝炎ウイルス検査を行いました。

	B型	C型
検査者	8	7
陽性者	0	0

イ 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、B型及びC型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療、C型ウイルス性肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。

肝炎治療医療費助成申請件数 新規480件

### 3 メンタルヘルス対策の充実

#### (1) 精神保健福祉事業

##### ア 精神保健福祉相談・訪問（昭和32年度～）

##### (ア) 把握区分

区 分	人 数		
	実人数	延人数	
		うち新規	
相 談	731	566	2,907
訪問指導	92	3	281

##### (イ) 担当者

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他
相 談	3,017	78	2,621	284	34
訪問指導	311	25	268	17	1

##### (ウ) 診断

区分	実 人 数(人)	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せ い 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相談	731	21	48	13	180	83	34		19	15	17	2	8	5	9	152	125
訪問	92	3	8	2	41	8	2		3	4	1		2	3	1	4	10

##### (エ) 相談種別

区 分	延人数	治 療 の 問 題	生 活 上 の 問 題	社 会 参 加 の 問 題	心 の 健 康 問 題	その他
相 談	2,907	1,035	442	173	161	1,096
訪問指導	281	109	48	47	17	60

##### (オ) 相談者

区 分	総 数	本 人	家 族	医 療 機 関	市 町 村	その他
相 談	3,377	1,216	849	370	296	646
訪問指導	517	181	98	64	62	112

##### (カ) 援助方法

総 数	所内面接	電 話	文 書(メール)	訪 問
3,188	389	2,496	22	281

イ 教育広報活動

(ア) 普及啓発

a 講演会

実施日	内 容	場 所	対 象	参加者数
1月21日	メンタルヘルス対策 ～教えて！何から始めてどう してるの？～	海老名市文化会 館小ホール	企業の人事・労務監 督者等	93
2月10日	健康教育アルコールにつ いて	柏ヶ谷中学校	中学1年生・教職員	225

※働く人のメンタルヘルス研修会は、厚木労働基準監督署、大和センター、精神保健福祉センターと共催

b 市町村主催普及啓発活動への支援

実施日	主催市町村	内 容
7月3日	清川村	健康祭り（こころの相談等）
11月14日	厚木市	地域交流事業 「こころの病とは」講演会 当事者発表

ウ 組織育成活動（昭和52年度～）

精神保健福祉関係団体

区 分	援 助 内 容	援助回数
精神障害者家族会	総会、会の運営助言等	4
断 酒 会	酒害相談員研修会	1
自立支援サービス事業所	・地域活動支援センター等の運営委員会等への 参加、市町村窓口との連携、対応方法の検討 ・相談支援事業所等への運営助言及び援助	14

エ 社会復帰の援助等

本人・家族を対象とした教室（昭和47年度～）

区 分	内 容	開催参加 回数	参加 延人数
家族教室（当所）	家族と当事者の教室 当事者発表、グループミーティング	1	46
家族教室（海老名市）	発達障害について	2	67
家族のつどい（愛川町）	近況報告、座談会	1	6
生活教室（愛川町）	アロマ&ストレッチ、絵はがき作成等	3	33

オ 医療保護関係事務

(ア) 精神保健診察 (法27条)

精神保健福祉法に基づく申請、通報に対し精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区分	件数	調査	指定医診察結果					
			要措置	不要措置				
				医保 入院	任意 入院	応急 入院	入院外 診療	医療 不要
22条	1	1						
23条	118	36 (78)	10 (30)	2 (4)	1		3 (3)	

※( )は23条対応時間外で精神保健福祉センター職員による調査及び結果

(イ) 精神科病院実地指導・実地審査 (法38条の6) (平成9年度～)

a 精神保健福祉法に基づく精神科病院に対する実地指導

総施設数	厚木市	座間市	清川村
5	3	1	1

b 精神保健福祉法に基づく実地審査却下

(措置入院者及び医療保護入院者等の精神保健指定医による診察)

施設数	実人数	審査結果								
		措置入院		医療保護入院			任意入院			
		継続	措置 不要	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要	
5	30	3		26				1		

(ウ) 医療機関から法定の届出等受理件数

区分	件数
医療保護入院者入院届 (法第33条の1)	742
医療保護入院者退院届 (法第33条の2)	737
定期病状報告書 (医療保護入院者)	531
定期病状報告書 (措置入院者)	2

カ 会議等

(ア) 地域精神保健福祉連絡協議会（平成8年度～）

開催日	内 容	対象委員	出席者数
2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内の精神保健福祉及び自殺対策の状況について</li> <li>精神障害者の地域生活支援について</li> <li>意見交換</li> </ul>	医療機関、市町村、障害者相談支援事業所、精神保健福祉センター	20

(イ) 地域支援研修(平成9年度～)

実施日	内 容	出席者	参加者数
11月6日	地域支援者スキルアップ研修 講義「動機づけ面接法」 ～変わりたい、でも変わりにくい気持ちに寄り添う～ ・講師 久里浜医療センター 湯本洋介氏	行政、医療機関、地域包括支援センター、介護事業所、民生委員等	86

(ウ) 市町村支援

a 市町村等精神保健福祉業務連絡会議（平成12年度～）

開催日	内 容	出席者	会 場	出席者数
6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>26年度事業実績</li> <li>27年度事業計画について</li> </ul>	市町村精神保健福祉担当課長・自殺対策担当課長・担当者、相談支援事業所所長等、精神保健福祉センター職員	厚木合同庁舎会議室	23

b 市町村との連携及び協力（打合せ・連絡会・事業への協力等）

回 数	22
-----	----

(エ) 管内精神科医療機関、警察署、市町村、保健福祉事務所連絡会（平成25年度～）

実施日	内 容	場 所	対 象	出席者数
10月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚木保健福祉事務所管内の精神障害者の状況</li> <li>市町村の精神保健福祉の概況</li> <li>医療機関の状況</li> <li>精神科救急医療体制、精神保健福祉法23条関連について</li> <li>情報交換</li> </ul>	厚木合同庁舎会議室	管内の5病院、5市町村、3警察署	17

※平成25年度より、管内医療機関連絡会と警察署連絡会議を合同で開催

キ 自殺対策事業（平成23年度～）

(ア) 会議

開催日	内 容	出席者	会 場	出席者数
9月7日	「地域自殺対策連絡会議」 ・ 県、市町村、保健福祉事務所の取組み ・ 関係機関状況報告 ・ 意見交換	管内市町村自殺対策 主管課、警察、消防、 救急医療機関、精神保 健福祉センター	厚木合同 庁舎会議 室	14
9月7日	「地域自殺対策ハイリスク 地ネットワーク会議」 ・ 宮ヶ瀬湖周辺地域の自殺 に関する状況報告 ・ 関係機関の取組みと課題 ・ 意見交換  助言者：東海大学医学部付 属病院 市村 篤氏	管内市町村自殺対策主管 課、警察、消防、相模原 市自殺対策主管課、精神 保健福祉センター、ダム 管理事務所、観光協同組 合、振興財団、土木事務 所、清川遠寿病院	厚木合同 庁舎会議 室	26

※平成27年度以降は、精神保健福祉連絡協議会の部会として地域自殺対策連絡会議・地域自殺対策ハイリスク地ネットワーク会議を開催していく。

(イ) ゲートキーパー研修

対 象	開 催 回 数	参加者数
行政職員	5	133
訪問歯科衛生士会	1	20
理美容組合	1	92
企業向け	3	73

(ウ) 地域自殺対策研修会

対 象	内 容	参加人数
地域ネットワーク関係者、地 域保健福祉関係者、管内行政 機関職員、学校関係者	I 「希死に揺れる気持ち寄り添うには」  講師 社会福祉法人 横浜いのちの電話研修担当者	22
	II 「広汎性発達障害の自殺リスクと再発予防 について」  講師 和光クリニック理事長 児童精神科医師 加藤晃司氏	34

(エ) 市町村との連携及び協力

自殺対策会議等出席等	3回
キャンペーン等普及啓発事業参加	1回

#### 4 認知症疾患対策の充実

##### (1) 認知症疾患対策保健所事業（昭和 58 年度～）

高齢化が進む中で認知症高齢者が増加しています。また若年性認知症疾患も増加しているため、高齢者に限らず認知症疾患に関する相談を中心に活動を実施しました。

##### ア 認知症疾患相談事業

###### (ア) 相談内容

区 分	実数	延数	相 談 内 容 (延数)							
			疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	福祉サービス	その他	計
総 数	127	597	113	270	153	1	5		55	597
精神科医の定例相談	17	20	2	10	4				4	20
保健師・福祉職の随時相談	110	577	111	260	149	1	5		51	577

###### (イ) 相談の対象と方法

区分	相談件数	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	その他
総 数	597	105	492	439	91	53	14
定 例 相 談	20	17	3		14	6	
随 時 相 談	577	88	489	439	77	47	14

##### イ 認知症疾患訪問指導

訪 問 数	47 ( 13 )
-------	-----------

( ) 内は実数

##### ウ 高齢者虐待（再掲）

###### (ア) 相談件数・内容

区 分	実 数	相 談 内 容 (延数)						計
		身体虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	介護・世話の放棄	その他	
総 数	21	21						21
定 例 相 談								
随 時 相 談	21	21						21

(イ) 訪問指導

件 数	9
-----	---

エ 組織育成活動

家族会

区 分	家 族 会 名	支援回数	内 容	参加者数
厚 木 市	すみれ会(認知症)	1	総会・話し合い、講演会	20
厚 木 市	フレッシュ厚木 (精神障害)	1	総会・話し合い	30
海 老 名 市	四葉のクローバー (認知症)	1	総会・話し合い	30
海 老 名 市	保健福祉促進会「2πr」 (精神障害)	1	総会	17

オ 講演会

実 施 日	内 容	参加者数
12月4日	家族の立場から支援者に期待すること	62

カ 会議

開 催 日	内 容	出 席 者	出席者数
5月25日	はいかい SOS ネットワーク連 絡会議	管内市町村 担当者	10

キ 研修

実 施 日	内 容	対象者	参加者数
3月23日	認知症サポーター養成研修	海老名警察署	35

## 5 難治性の疾患対策の充実

### (1) 難病患者地域支援対策推進事業（難病患者地域支援ネットワーク事業）

（平成 10 年度～）

厚生労働省の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等の療養上の不安解消を図るとともに、関係機関との連携により適切な在宅療養支援を行い、患者家族の生活の質の向上を目的として実施しました。

#### ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症患者の個別支援の充実及び在宅療養における保健・医療・福祉の連携を深め、総合的な支援体制の構築を図るため実施しました。

#### (ア) 在宅療養支援計画策定・評価委員会（難病委員会・難病実務担当者会議）

実施日	出席者	内容	出席者数
11月6日	訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	<難病実務担当者会議> 1 Web171（災害用伝言板）について 2 Web171（災害用伝言板）を利用した情報の受伝達訓練	20
2月4日	医師会 専門病院 地域病院 訪問看護事業所 居宅介護支援事業所 各市町村障がい福祉担当課	<難病委員会> 1 難病患者への取り組み状況及び今後の方向性について 2 厚木保健福祉事務所における難病対策地域協議会について	27

#### イ 医療相談事業（昭和 55 年度～）

患者及び家族の療養上の不安を軽減するために講演会・相談会を実施しました。

実施日	内容	講師	参加者数
9月15日	脊髄小脳変性症及び多系統萎縮症患者の在宅でのからだの使い方・動かし方	神奈川総合リハビリテーションセンター地域支援センター 理学療法士 平田 学氏 理学療法士 内山 陽彦氏	28

ウ 訪問相談事業（平成10年度～）

医療相談等の事業に参加できない要支援難病患者について患者家族の精神的負担の軽減、QOLの向上を図るため訪問相談員を派遣し、個別の相談・指導・助言を行いました。

相談員	相談回数	相談者（延）
保健師	41	146

(2) 特定疾患医療援護、特定医療費（指定難病）助成

ア 特定疾患医療費給付

神奈川県特定疾患医療給付実施要綱に基づき、入院通院をして治療を受けた者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行いました。なお、この申請は一部の疾患を除き、難病の患者に対する医療等に関する法律の施行に伴い、平成27年1月1日から特定医療費（指定難病）助成制度へ移行しました。

特定疾患医療費給付申請件数 新規2件

イ 特定医療費（指定難病）助成

難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき、支給認定等の申請について県への経由事務を行いました。

特定医療費支給認定申請件数 新規514件

(3) 先天性血液凝固因子障害医療給付（平成元年度～）

平成2年1月1日施行の神奈川県先天性血液凝固因子障害医療給付実施要綱に基づき、入院及び通院をして治療を受けた者に対して医療給付の申請について県への経由事務を行いました。

先天性血液凝固因子障害医療給付申請件数 なし

## 6 原爆被爆者健康管理及び福祉対策事業

被爆者健康手帳、健康診断受診者証並びに各種手当の申請等について県への經由事務を行いました。原爆被爆者等の定期健康診断を年2回（5月と11月）実施しました。

### (1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	既交付	新規交付 (△は減)	合計	平成28年3月31日 現在の交付数
総 数	490	△10	480	480
被 爆 者 健 康 手 帳	194	△5	189	189
第 1 種 健 康 診 断 受 診 者 証	5		5	5
第 2 種 健 康 診 断 受 診 者 証	4		4	4
被爆者のこども健康診断受診証	287	△5	282	282

### (2) 被爆者健康診断受診状況

区 分	総 数	被爆者	被爆者の こども	要精検者	要治療者	
平成 25 年度総数	13	10	3			
平成 26 年度総数	9	7	2	3		
平成 27 年 度	総 数	11	9	2	5	
	第 1 回	7	5	2	4	
	第 2 回	4	4		1	

## 7 石綿による健康被害の救済支援事業

### (1) 相談対応状況（平成17年7月～）

石綿（アスベスト）による健康被害に関して、県民の不安解消のための相談対応を実施しました。

相談件数	主 な 相 談
2	健康相談、アスベスト救済法相談等 累計61件

### (2) 申請状況

「石綿による健康被害の救済に関する法律」（平成18年法律第4号）に基づき、石綿（アスベスト）による健康被害を受けられた方及びそのご遺族で、労災補償等の対象とならない方に対して、救済給付の支給を行うための認定申請の受付、送付（独立行政法人 環境再生保全機構）を行いました。

申請件数	申 請 内 容
1	認定申請・療養手当請求

## 8 地域保健師業務連絡会議等実施状況

### (1) 地域保健師業務連絡会議

開催日	内 容	出席者数
5月7日	議題 (1) 厚木保健福祉事務所地域保健師業務連絡会議について ① 26年度実績報告 ② 27年度事業計画(案) (2) 保健師配置状況について (3) 災害時における保健師活動について (4) その他 ① 市町村及び保健福祉事務所における保健福祉事業について ② 看護系大学保健師学生の隣地実習受け入れについて ③ 平成26年度の学会発表について	20

### (2) 管内保健師研究会

開催日	内 容	参加者数
9月25日	感染症予防研修会 ～防護服やマスク着脱等の演習～	25
10月26日	災害対策研修 ～災害時の保健師活動について 市町村・保健所の役割を考える～ 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎美砂子氏	23
11月27日	実力Up事例検討会 ～個別支援をスキルアップ～ 保健師のための相談室なごみ 主宰 塚原洋子氏	34
11月27日	新任期保健師研修 講演と情報交換	26

### (3) 定例連絡会

開催日	内 容	参加者数
8月6日	保健師リーダー連絡会 (1) 災害時における保健師活動について (2) 人材育成について (3) 地域保健師業務連絡会議について (4) その他	11

(4) 代表幹事会

開催日	内 容	出席者数
3月16日	(1) 平成27年度地域保健師業務連絡会議について (2) 平成28年度地域保健師業務連絡会議の実施について	8

9 保健師業務

(1) 家庭訪問

総 数	種 別																			
	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心身障害					生活 習慣病		難 病	小児特定				そ の 他 疾 病	未熟児		妊 産 婦	そ の 他
				1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上		
実数 (人)	197	16	69	18	16	3		1		1	43	1	15	4		1		8		1
延数 (人)	435	25	168	28	56	10		1		1	75	4	46	11		1		8		1

訪問内容別再掲															
精神障害			特定疾患					介護 保険		児 童 虐 待	小児アレルギー疾患				高 齢 者 虐 待
社 会 復 帰	老 人 性 認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 經 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	皮 膚 炎	ア ト ピー 性	ギ ー の 疑 い	
10	2					42				7		1			
17	2					73				20		4			

(2) 所内指導

項 目	計	感 染 症	結 核	精 神 障 害	老 人 性 認 知 症	心 身 障 害	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定	そ の 他 の 疾 病	妊 産 婦	産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 児	思 春 期	エ イ ズ	女 性 の 健 康	そ の 他
面接 (人)	335	6	102	36	1		29	1	97	51	2					8		1	1	
電話 (人)	2,776	59	1,201	302	6	2	437	10	331	295	17	4	6		4	64	1	9	15	13
文書 メール (人)	191		77				36		13	63						2				
合計 (人)	3,302	65	1,380	338	7	2	502	11	441	409	19	4	6	0	4	74	1	10	16	13

(3) 家庭訪問以外の保健活動

項目	合計	健康相談	集団検診	健康教育	デイケア	地区組織活動
開設回数 (回)	204	83		106		15
指導延人員 (人)	8,361	649		7,350		362

## 10 保健福祉サービス連携調整会議

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会・協議会を開催しました。

平成 27 年度厚木保健福祉事務所保健福祉サービス連携調整会議  
(委員会・協議会の総称)

- ①
- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 母子保健委員会            | 実務担当者会議等  |
| 保健福祉課 1 回          | 保健福祉課 2 回 |
| 学識経験者 医師会代表 行政機関職員 |           |
- ②
- |  |
|--|
| 地域食生活対策推進協議会                               |
| 保健福祉課 1 回                                  |
| 医師会代表 学識経験者 労働基準監督署<br>地域関係団体 行政機関職員 企業・大学 |
- ③
- |  |           |
|--|-----------|
| 地域精神保健福祉連絡協議会                                  | 実務担当者会議等  |
| 保健予防課 1 回                                      | 保健予防課 4 回 |
| 医療機関 家族会 自立支援事業所 警察署<br>相談支援事業所 社会福祉協議会 行政機関職員 |           |
- ④
- |   |           |
|---|-----------|
| 歯及び口腔の健康づくり推進委員会                            | 実務担当者会議等  |
| 保健福祉課 1 回                                   | 保健福祉課 2 回 |
| 歯科医師会代表 歯科衛生士会代表 学識経験者 行政機関職員<br>8020 運動推進員 |           |
- ⑤
- |  |           |
|--|-----------|
| 難病委員会  | 実務担当者会議   |
| 保健予防課 1 回                                    | 保健予防課 1 回 |
| 医師会代表 医療機関関係者 訪問看護ステーション<br>居宅介護支援事業所 行政機関職員 |           |

## 第3章

# 健康で快適な生活環境の確保

1 食品保健対策の充実	62
2 環境保健対策の充実	68
3 医薬品等安全対策の充実	73

## 1 食品保健対策の充実

食生活の多様化、流通の国際化が進む中、多種多様な食品が出回り、食品の安全性への関心がますます高まっています。食中毒等、食品による危害の発生を防止し、地域において安心できる食生活を確保するため、次の事業を実施しました。

### (1) 食品関係営業施設の監視指導

管内の営業施設数は13,888。県央中核都市域に位置し、東名高速道路等全国へつながる交通の要衝としての立地条件から大規模製造業も多く、広域に流通する食品の安全確保についても力を入れてきました。また、給食施設に対しても集団食中毒防止のため徹底した指導を実施しました。

#### ア 許可営業施設(政令)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数	
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規			更新
飲食店営業		4,312	2,093	969	712	372	49	117	473	436	336	2,652
菓子(パンを含む)製造業		330	129	86	60	32	8	15	42	38	23	276
乳処理業		3	1	2								5
乳製品製造業		8	4	4					1	1		6
魚介類販売業		528	267	117	88	55	1		68	41	54	405
魚肉練り製品製造業		2	1	1								2
食品の冷凍又は冷蔵業		34	18	7	3	5	1		3	4	2	35
缶詰又は瓶詰食品製造業		3	1			2			1		1	7
喫茶店営業		1,015	552	192	134	128	5	4	60	133	102	231
アイスクリーム製造業		4	2	1		1						14
乳類販売業		1,064	513	262	172	110	6	1	112	102	98	537
食肉処理業		36	22	8	2	4			3	3	3	45
食肉販売業		586	293	118	97	62	9	7	70	46	59	436
食肉製品製造業		9	6	1		2			1			18
食用油脂製造業		2	1			1			1		1	5
みそ製造業		12	5	4	2		1			3		8
ソース類製造業		4	2			1	1		2		2	7
酒類製造業		6	4	1		1				1		4
豆腐製造業		13	4	3	6					1	1	12
納豆製造業		1		1						1		1
麺類製造業		11	3	2	5	1				3	2	15
総菜製造業		51	24	14	7	5	1		6	6	4	47
添加物製造業		4		1		3						5
清涼飲料水製造業		8	5	2		1			1	1	1	6
氷雪販売業		2	1		1					1		1
合計		8,048	3,951	1,796	1,289	786	82	144	844	821	689	4,780

イ 許可営業施設(条例)

業種	区分	地区別施設数						申請件数		廃業件数	監視指導件数
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	新規		
魚介類行商		1	1						1	1	1
魚介類加工業		7	4	3				1	1		6
発酵乳等販売業		43	27	5	7	2	2		5	3	8
合計		51	32	8	7	2	2	1	7	4	15

ウ 届出営業施設

業種	区分	地区別施設数							監視指導件数
		総数	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	移動営業	
給食施設	学校	43	19	2	12	9	1		72
	病院・診療所	8	6	1			1		10
	事業所	6	1	1	3		1		6
	その他	120	50	23	36	9	2		134
	小計	177	76	27	51	18	5		222
乳搾取業		50	17	16	6	11			1
食品製造業		224	118	46	22	31	6	1	51
野菜果物販売業		735	332	170	144	73	9	7	367
総菜販売業		643	310	146	114	61	9	3	402
菓子販売業		1,421	632	353	271	135	18	12	542
食品販売業		1,791	791	446	346	149	28	31	571
食品添加物製造業		3	1		1	1			5
添加物販売業		172	82	36	38	15	1		128
器具・容器包装・おもちゃの製造業又は販売業		573	278	129	109	50	7		353
合計		5,789	2,637	1,369	1,102	544	83	54	2,642

(2) 営業施設数の推移

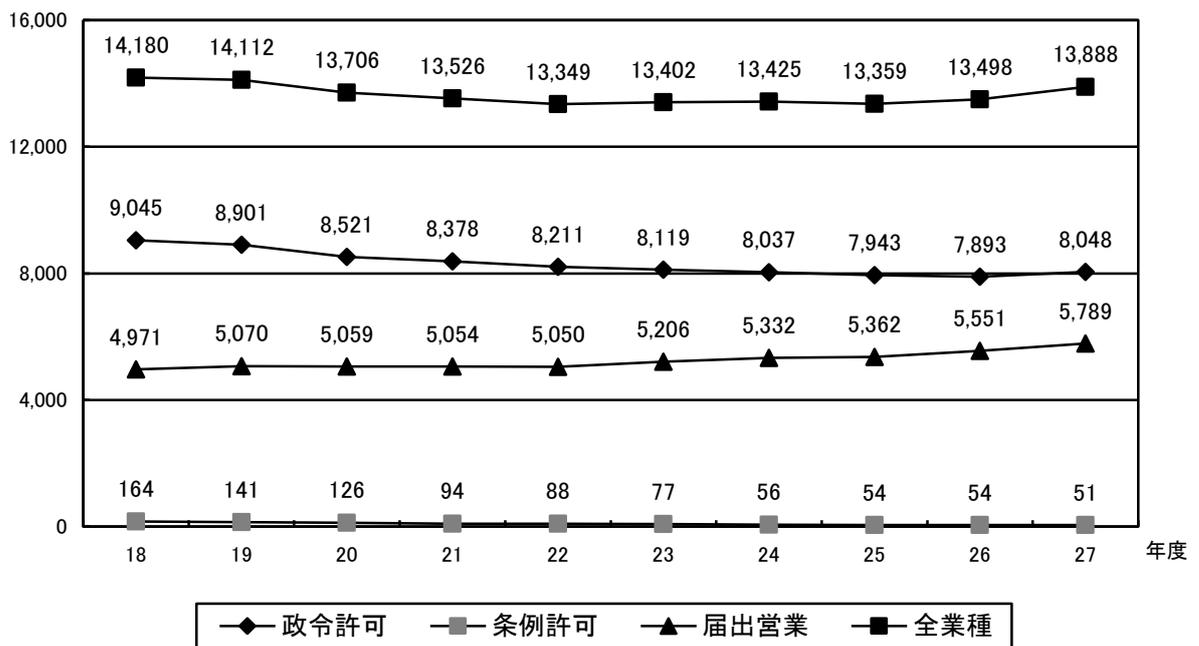
ア 市町村別営業施設数の推移

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
市町村										
厚木市	7,009	6,890	6,781	6,696	6,620	6,614	6,563	6,422	6,530	6,620
海老名市	2,987	2,975	2,841	2,794	2,801	2,867	2,925	2,939	2,958	3,173
座間市	2,472	2,474	2,379	2,371	2,314	2,311	2,305	2,373	2,375	2,398
愛川町	1,406	1,471	1,404	1,379	1,334	1,320	1,334	1,315	1,301	1,332
清川村	188	187	182	185	166	166	162	161	169	167
移動営業	118	115	119	101	114	124	136	149	165	198
合計	14,180	14,112	13,706	13,526	13,349	13,402	13,425	13,359	13,498	13,888

イ 許可・届出別営業施設数の推移

年度		市町村名									
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
政令許可	厚木市	4,561	4,433	4,303	4,247	4,175	4,111	4,018	3,917	3,899	3,951
	海老名市	1,876	1,843	1,753	1,720	1,718	1,725	1,738	1,733	1,718	1,796
	座間市	1,523	1,508	1,410	1,386	1,340	1,323	1,299	1,322	1,301	1,289
	愛川町	921	956	892	864	815	792	803	788	773	786
	清川村	88	88	88	93	87	84	84	83	83	82
	移動営業	76	73	75	68	76	84	95	100	119	144
	合計	9,045	8,901	8,521	8,378	8,211	8,119	8,037	7,943	7,893	8,048
条例許可	厚木市	97	79	74	59	55	50	37	34	34	32
	海老名市	27	27	23	14	14	9	6	6	7	8
	座間市	20	16	12	8	7	6	6	7	7	7
	愛川町	16	15	13	10	9	9	4	3	3	2
	清川村	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
	移動営業	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
	合計	164	141	126	94	88	77	56	54	54	51
届出営業	厚木市	2,351	2,378	2,404	2,390	2,390	2,453	2,508	2,471	2,597	2,637
	海老名市	1,084	1,105	1,065	1,060	1,069	1,133	1,181	1,200	1,233	1,369
	座間市	929	950	957	977	967	982	1,000	1,044	1,067	1,102
	愛川町	469	500	499	505	510	519	527	524	525	544
	清川村	97	96	91	90	77	80	76	76	84	83
	移動営業	41	41	43	32	37	39	40	47	45	54
	合計	4,971	5,070	5,059	5,054	5,050	5,206	5,332	5,362	5,551	5,789

(営業施設数の年度別推移)



(3) 食品等輸入事務所等の届出

平成 21 年 7 月に制定された「神奈川県食の安全・安心の確保推進条例」に基づく制度として、食品等輸入事務所等の届出に関する規定が平成 21 年 7 月 17 日から施行されました。食品等の輸入を行う事業者に対し、輸入食品の安全性確保に努めました。

市町村		年度					
		23	24	25	26	27	
厚	木	市	7	6	6	6	8
海	老	名	3	3	3	3	4
座	間	市	1	1	1	1	1
愛	川	町					1
清	川	村					
移	動	業					
合		計	11	10	10	10	14

(4) 食品・器具等の収去検査

管内で製造又は流通する食品を収去し、細菌検査、理化学検査を実施しました。

種 別		区 分	収去件数	不適件数												
				総 数	細菌試験	理化学試験										
乳肉食品	魚	介	類	4												
	冷	凍	食	品	5											
	肉	卵	類	及	び	そ	の	加	工	品	4					
	乳	・	乳	製	品	2										
	ア	イ	ス	ク	リ	ー	ム	類	4	1	1					
	小	計	19													
一般食品	穀	類	及	び	そ	の	加	工	品	5						
	野	菜	類	・	果	実	及	び	そ	の	加	工	品	12		
	菓	子	類	30												
	清	涼	飲	料	水	2										
	そ	の	他	の	食	品	92									
	小	計	141													
合	計	160	1	1												

(5) 違反食品等の発見等

食品の種類	件数	違反内容	措置	備考
アイスクリーム類	1	成分規格違反	始末書及び報告書を徴収	
菓子類	1	表示違反	他自治体へ通報	

(6) 違反施設

営業の種類	件数	違反内容	措置	備考
飲食店営業	1	食中毒	営業禁止	

(7) 食中毒予防啓発及び食中毒発生状況

食品取扱い施設における食中毒の発生防止を図るため、営業者への衛生教育及びリーフレットの配布を行いました。また、食品衛生指導員による自主管理の推進をサポートし、営業施設の衛生管理の向上を図りました。

家庭における食中毒の注意を喚起するため、広報誌やポスターの掲示による広報活動を行いました。また、食中毒予防週間に管内の各地区でリーフレットを配布して食中毒への注意を呼びかけました。

食中毒の発生にあたっては、被害の拡大を防止するための迅速な対応に努め、さらに原因究明による再発の防止を図りました。

平成27年度の食中毒発生状況（厚木保健福祉事務所管内）

発生日	原因施設	喫食者数	患者数	病因物質	原因食品
3月11日	飲食店	5	4	カンピロバクター・ジェジュニ	鶏レバー串焼き (推定)

(8) 食品衛生講習会

営業施設の食品衛生責任者に対し、食中毒の発生防止を図るため、食品の取扱い・施設の管理・従業員教育等について講習を行いました。また、消費者に対しても家庭における食中毒予防を目的とした講習会を実施しました。

対象者	回数	受講人数	内容
営業者	39	2,221	食品衛生責任者講習会 食中毒予防講習会 給食施設従事者講習会
消費者	5	200	食中毒予防について
合計	44	2,421	

(9) 苦情処理

食品に対する苦情は消費者からの貴重な情報として受けとめ、事実確認のほか、製造・流通・販売の各ルートについて苦情原因の解明と再発防止に努めました。

分類	内容	総数	異物混入	かび	腐敗	味臭	不衛生	容器包装の不良	有苦情	その他
	乳・乳製品・乳類加工品	5	3		1		1			
	魚介類及びその加工品	16	10		2		1		3	
	肉卵類及びその加工品	5	4						1	
	穀類及びその加工品	12	9	1		2				
	野菜類・果実及びその加工品	9	6	2		1				
	菓子類	33	20	2		3	4		3	1
	その他	114	48	2	2	12	9	1	32	8
	不明	1								1
	施設に関するもの	36					28			8
	合計	231	100	7	5	18	43	1	39	18

※ 食品の分類は衛生行政報告例に準ずる

(10) 免許取扱い数

項目	免許申請	書換	再交付	合計
調理師	129	9	13	151
製菓衛生師	16		1	17
ふぐ包丁師	3	2		5
合計	148	11	14	173

## 2 環境保健対策の充実

### (1) 生活衛生指導事業

#### ア 生活環境指導事業

理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場、公衆浴場の許認可及び衛生措置の遵守等を図るため、監視指導を行いました。

また、「墓地、埋葬等に関する法律」(昭和23年法律第48号)第10条の規定に基づく許可等を行いました。

#### (ア) 環境衛生関係営業施設数及び監視指導状況

業種	項目 施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 (確認) 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
理 容 所	329	151	73	76	28	1	14	12	97
美 容 所	620	268	168	139	41	4	37	25	196
ク リ ー ニ ン グ 所	288	133	64	65	25	1	9	18	81
旅 館	87	55	7	2	8	15	5	4	23
興 行 場	7	2	3	1	1		1	1	4
公 衆 浴 場	50	27	12	5	2	4	2	2	23
合 計	1,381	636	327	288	105	25	68	62	424

#### (イ) 免許事務処理

免許の種類	免許申請	書換・訂正	再交付	返納
クリーニング師	2	0	1	0

#### (ウ) 生活環境衛生関係施設

区 分	施 設 数	監 視 指 導 件 数
化 製 場	1	1
火 葬 場	1	1
産あい物処理業	1	1

#### (エ) 墓地等相談件数及び許可件数

項 目	相談数	許可数
新 設		
変 更		
廃 止		
合 計	0	0

イ 建築物衛生対策強化事業

法に基づく届出の受理、建築物登録業の登録事務を行うとともに、特定建築物への立入検査及び指導を行い、衛生的環境の確保に努めました。

(ア) 特定建築物設置施設数及び監視指導状況

用 途	施設数	市 町 村 別 施 設 数					内 訳	監視件数
		厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村		
総 数	173	107	32	24	9	1	43	
興 行 場	3	1	1		1		2	
百 貨 店	1	1						
店 舗	58	24	17	12	4	1	16	
事 務 所	70	51	8	8	3		24	
学 校	18	12	2	3	1			
旅 館	10	9	1				1	
集 会 場	6	4	2					
図 書 館	2		1	1				
遊 技 場	2	2						
その他学校	3	3						

(イ) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 区 分	登 録 営 業 所 数	監 視 指 導 件 数
建 築 物 清 掃 業	27	7
建 築 物 空 気 環 境 測 定 業	5	1
建 築 物 空 気 調 和 用 ダ ク ト 清 掃 業		
建 築 物 飲 料 水 水 質 検 査 業	5	1
建 築 物 飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	34	11
建 築 物 排 水 管 清 掃 業	8	3
建 築 物 ね ず み 昆 虫 等 防 除 業	11	3
建 築 物 環 境 衛 生 総 合 管 理 業	3	1
合 計	93	27

(ウ) 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
特 定 建 築 物 管 理 者 等	1	40

ウ 浄化槽維持管理推進事業

浄化槽の維持管理について、設置届の受理及び大規模施設への立入調査等を実施するとともに、保守点検業の登録事務及び指導を行い、生活環境の改善に努めました。

(ア) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

項目 規模別等	設置基数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					監視 件数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	
501人槽以上	11	5	2	1	3		11
500人槽以下	15,031	4,479	4,358	3,132	2,877	185	28
合 計	15,042	4,484	4,360	3,133	2,880	185	39

(イ) 浄化槽保守点検業登録営業所数及び監視指導状況

登 録 事 業 者 数	管内登録営業所数	監 視 指 導 件 数
55	19	0

エ 住まいと環境衛生推進事業

ダニアレルギーをはじめとする住まいに起因する健康被害の予防及びねずみ・衛生害虫等の駆除に係る相談窓口を開設し、必要な情報提供や改善方法等の助言指導を行いました。

主 な 相 談 内 容	件 数
衛生害虫等の対策	48 (うち同定6) 再掲
室内空気環境	0
浄 化 槽 等	0
飲 料 水	0

(2) 水浴場等対策事業

プールについて、設置の許可及び監視指導を行うとともに、講習会を開催し、公衆衛生の確保と事故防止に努めました。

ア 水浴場等施設数及び監視指導状況

項目 区分	施設数	市 町 村 別 施 設 数 内 訳					許 可 件 数	廃 止 件 数	監 視 件 数
		厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村			
プール	39	11	7	14	5	2	0	0	38

イ 講習会開催状況

対 象 者	開 催 回 数	受 講 者 数
プ ー ル 管 理 者	1	17

(3) 温泉指導監督事業

源泉、温泉利用施設の許可及び監視指導を行い、温泉の適正利用及び保護に努めました。

源泉、温泉利用施設

区 分	源 泉 数	利用施設数	源 泉 地 名
厚 木 市	10	10	七沢温泉・飯山温泉
海老名市	2	2	
座間市	1	1	
清川村	4	1	別所温泉
合 計	17	14	

(4) 動物保護等対策事業

犬、猫の飼育指導を行うとともに、犬による事故の状況について調査・指導を行い再発防止に努めました。

ア 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

項目 区分	頭 数	市 町 村 別 頭 数					内 訳 清川村
		厚 木 市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	
犬	6	3		2	1		
猫	11	6	1	4			
合 計	17	9	1	6	1		

イ こう傷事故の発生状況

市 町 村 別 頭 数					内 訳 清川村	合 計
厚 木 市	海老名市	座間市	愛川町	清川村		
12	7	4	1		24	

ウ 犬、猫の苦情相談等の処理状況

(ア) 動物保護センター依頼分(件数)

捕獲依頼	引取依頼	合 計
7	22	29

(イ) 保健福祉事務所処理分

内容 区分	放し飼い	鳴き声	糞尿	野良猫に餌	その他	合 計
犬	10	28	2		23	63
猫			16	25	77	118
合 計	10	28	18	25	100	181

エ 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況（参考）

区分	項目	頭数	市 町 村 別 頭 数 内 訳				
			厚 木 市	海老名市	座 間 市	愛 川 町	清 川 村
登 録		30,414	13,008	7,015	7,062	3,008	321
	(内) 新規登録	1,933	876	430	422	183	22
	狂犬病予防注射	24,047	10,524	5,590	5,504	2,187	242

(5) 水道指導事業

水道事業の許認可、専用水道の確認及び簡易専用水道の指導を行うとともに、水道水源の水質検査や水道施設の維持管理の指導を行い、安全な飲料水の確保に努めました。

ア 水道施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	町村別施設数内訳		監視件数
			愛 川 町	清 川 村	
上 水 道		1	1		
簡 易 水 道		1		1	
専 用 水 道		4	3	1	4
簡 易 専 用 水 道		68	62	6	1
合 計		74	66	8	5

イ 小規模水道等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	町村別施設数内訳		監視件数
			愛 川 町	清 川 村	
小 規 模 水 道		2	2		2
小規模受水槽水道		85	68	17	1
合 計		87	70	17	3

### 3 医薬品等安全対策の充実

医薬品等の安全性・有効性、品質の確保、適正使用の推進及び安全対策の充実並びに麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止対策の強化などを通して県民の健康づくりと地域における保健医療サービスの向上に努めました。

#### (1) 薬事指導監督事業

##### ア 薬局・医薬品販売業等施設数

業種 市町村	総数	薬局	医薬品販売業			薬局医薬品製造販売業	薬局医薬品製造業	医薬品等製造業・製造販売業等	高度管理医療機器等販売・貸与業	管理医療機器販売・貸与業	再生医療等製品販売業
			店舗	卸売	小計						
厚木市	1,163	88	41	76	117	5	5	61	134	749	4
海老名市	469	45	21	9	30	3	3	12	52	324	
座間市	415	41	25	7	32	4	4	17	48	269	
愛川町	144	13	5	5	10			17	13	91	
清川村	3									3	
合計	2,194	187	92	97	189	12	12	107	247	1,436	4

##### イ 薬局・医薬品販売業等取扱い件数

区分	業種	総数	薬局	医薬品販売業					製薬局販売医薬品	製薬局造医薬品	高度管理医療機器等販売・貸与業	販売・貸与業	管理医療機器	製再生医療等
				店舗	卸売	薬種商	特例	小計						
新規許可申請		197	15	5	8			13			31	135	3	
許可更新申請		84	21	27	17			44			19			
製造販売承認申請		2							2					
製造販売届														
許可証等書換・再交付申請		22	9		6			6			7			
管理者兼務許可申請		29	23		6			6						
変更届		1,194	538	214	90			304			139	210	3	
休止・再開届		2	1									1		
廃止届		73	10	4	10			14	1	1	12	35		

##### ウ 薬事監視実施状況

項目	業種	総数	薬局	医薬品販売業			製薬局医薬品製造販売業	製薬局医薬品製造業	製造販売業等	医薬品等	高度管理医療機器等販売・貸与業	管理医療機器	再生医療等製品
				店舗	卸売	小計							
対象数		2,194	187	92	97	189	12	12	107	247	1,436	4	
立入検査		412	50	37	46	83			22	92	162	3	
違反件数													

(2) 毒物・劇物指導監督事業

ア 毒物・劇物販売業等施設数

業種 市町村	総数	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者 ※	その他
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計				
厚木市	130	101	16	3	120	5		2	3
海老名市	44	35	4		39	2	1	1	1
座間市	39	29	2		31	3	1	1	3
愛川町	13	6	2		8	4	1		
清川村	1		1		1				
合計	227	171	25	3	199	14	3	4	7

※毒物及び劇物取締法第22条第1項に規定のあるもの(以下同じ)

イ 毒物・劇物販売業等取扱い件数

業種 区分	総数	毒物・劇物販売業				業務上 取扱者
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計	
新規登録申請・届出	13	12	1		13	
登録更新申請	26	23	1	2	26	
登録票書換え等交付申請	17	6	11		17	
毒物・劇物 取扱責任者	設置届	8	7	1	8	
	変更届	34	22	12	34	
変更届	38	12	26		38	
廃止届	10	9	1		10	

ウ 毒物・劇物監視実施状況

業種 項目	総数	毒物・劇物販売業				製造業	輸入業	業務上 取扱者	その他
		一般	農薬用 品目	特 定 品 目	小 計				
対象数	227	171	25	3	199	14	3	4	7
立入検査	66	57	1	2	60	3		1	2
違反件数									

(3) 麻薬指導監督事業

ア 麻薬免許取扱い件数

業種 区分	総数	施用者	管理者	小売業者	卸売業者	研究者
新規申請	116	87	12	16		1
継続申請	318	233	21	60	4	
変更	105	74	2	25	4	
廃止及び返納	405	301	32	66	4	2

イ 麻薬監視実施状況

業種 項目	総 数	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬研究者	麻 薬 取 扱 い 施 設	
					病 院	診 療 所
対 象 数	286	7	119	5	21	134
立 入 検 査	64	6	34	2	21	1
違 反 件 数	0					

(4) 薬物乱用防止対策事業

ア 街頭キャンペーン等

実施日	名称	場所	内容	参加者数
6月21日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	小田急線本厚 木駅前	約1,000人対象 啓発資材配布	43 (8団体)
9月23日	ふれあいフェスティ バル2015・第32 回社協福祉まつり	座間市総合福 祉センター	約1,050人対象 啓発資材配布 啓発資材展示相談コーナー	35 (9団体)
10月24日	えびな安全・安心 フェスティバル	海老名市役所	約1,050人対象 啓発資材配布 乱用薬物の見本の展示 啓発パネルの展示 お薬相談コーナー 禁煙相談コーナー	36 (9団体)
2月21日	薬物乱用防止 街頭キャンペーン	コピオ愛川店	約700人対象 啓発資材配布	35 (10団体)
3月8日	厚木保健福祉 事務所管内薬 物乱用防止推 進地域連絡会	厚木合同庁舎	神奈川県における薬物乱用 の現状と防止対策について 管内における薬物乱用の現 状について各機関の活動に ついて	23

## 第4章

# 健やかで安心した生活を支える福祉の推進

1 福祉事業の普及・支援	76
2 福祉事業の推進	79

## 1 福祉事業の普及・支援

### (1) 地域福祉の事業

#### ア 民生委員児童委員（昭和23年度～）

社会調査、要援護者の指導、福祉施設との連携、関係行政機関への協力など、地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員児童委員の活動費等を負担しました。

区分 市町村名	定数			活動件数		訪問回数	連絡調整回数	活動日数
	民生委員 児童委員	主任児童委員	合計	相談・支援件数	その他の活動件数			
総数	976	94	1,070	11,596	159,769	182,931	88,558	160,417
厚木市	269	31	300	5,042	68,522	71,188	31,617	51,921
大和市	254	22	276	3,031	31,646	37,278	20,536	37,320
海老名市	141	10	151	799	15,222	32,100	8,002	18,813
座間市	132	12	144	930	15,393	14,817	11,112	20,602
綾瀬市	113	12	125	733	20,974	16,456	12,132	21,840
愛川町	59	5	64	1,053	7,394	10,296	4,783	8,880
清川村	8	2	10	8	618	796	376	1,041

#### イ 障害福祉相談員

従来、県が設置していた障害福祉相談員については、平成25年度より、市町村が実施主体となることとなりました。なお、相談員に対する研修については、引き続き県保健福祉事務所が企画・開催することとなりました。

開催日	内容	場所	参加者数
3月1日	講演とグループワーク 講演テーマ「障害者相談員への援助とセルフケア」 講師：山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科 山中 達也准教授	綾瀬市役所	相談員、担当行政職員等 13

ウ バリアフリーの街づくり

バリアフリー街づくりに関する県民への普及啓発、とりわけ児童生徒に対して「心のバリアフリー」についての意識の高揚を図るため、色覚障害の擬似体験、パンフレット等の配布を行ったほか、海老名市等との共催によるイベントを開催しました。

開催日	内 容	場 所	配布数 参加者数
6月7日	「新町発足 60 周年記念 あいかわ健康の日」におけるカラーバリアフリーに関するパネル展示と、シミュレーションツールを使った色覚障害の擬似体験コーナー実施	愛川町健康プラザ	1,965
9月23日	「座間市ふれあいフェスティバル 2015 座間市社協福祉まつり」における小学生向け教育用冊子「街も、私たちもバリアフリーになろうよ」を使用しての普及啓発	ハーモニーホール座間・ふれあい広場・サニープレイス座間	5,115
(ア)11月7日 (イ)12月5日	「第13回海老名市こころのバリアフリー2015～かかわり・つながり・ささえあい～」 (ア) 映画「みんなの学校」上映会 (イ) 講演会「みんなとはちがった人たち～自閉症スペクトラム、アスペルガー症候群 共に学び、共に育つ～」 講師：行動分析学者・国際セラピスト 奥田健次 アトラクション：海老名市立海西中学校合唱部による合唱	(ア) イオンシネマ海老名  (イ) 海老名市文化会館小ホール	(ア)207  (イ)425

(2) 福祉の貸付事業

ア 母子父子寡婦福祉資金の貸付

(母子:昭和 28 年度～、父子:平成 26 年 10 月～、寡婦:昭和 44 年度～)

母子家庭等の経済的自立や子どもの福祉向上を図るため、必要な資金の貸付をしました。

区分		事業	事業	技能	就職	住宅	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	合計
市町村名		開始	継続	習得	支度			介護			支度			(件)
母子 福祉 資金	厚木市								1	22	29	2		54
	海老名市						1			2	2			5
	座間市									2				2
	愛川町								1			1		2
	清川村													
合計							1		2	26	31	3		63

※父子、寡婦福祉資金は実績なし

## 2 福祉事業の推進

社会福祉法による福祉事務所として、愛川町と清川村を所管し生活保護法、母子及び寡婦福祉法、児童福祉法等を施行しました。

### (1) 生活保護

生活保護制度は、国民の最低生活の保障という社会保障制度の根幹をなす制度です。要保護者の最低生活の保障と自立の助長を図るため、国の法定受託事務として町村の協力を得ながら実施しています。保護率は平成4年度（平均）の2.17%を最低とし、その後は経済状況の低迷等を背景に増加に転じ、特に平成20年秋以降の世界同時不況による雇用情勢の悪化によって被保護世帯数・人員とも増え続けています。平成27年度末（平成28年3月）の保護率（平均）は13.51%です。

#### ア 被保護世帯数・人員（平成28年3月現在）

区分		総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	介護扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助
総数	世帯数	415	338	358	39	364	82		21	1
	人員	587	481	509	58	481	84		24	1
愛川町	世帯数	393	328	348	39	343	77		21	1
	人員	565	471	499	58	460	79		28	1
清川村	世帯数	22	10	10		21	5			
	人員	22	10	10		21	5			

※ 総数は停止中の2世帯3人を含む

#### イ 保護の開始・廃止

##### (ア) 理由別開始世帯の状況（年度計）

区分	総数	世帯主の傷病	世帯員の傷病	死亡離別不在	稼働収入の減少				年金の減少等	仕送りの減少等	預貯金の消費	要保護者の転入	その他
					定年失業	老齢	倒産等	その他					
総数	85	27	1	7	12	7		5	2	8	6	1	9
愛川町	83	27	1	7	12	6		5	2	8	5	1	9
清川村	2					1					1		

(イ) 理由別廃止世帯の状況（年度計）

区 分	総 数	世帯主傷病の治癒	世帯員傷病の治癒	死 亡	失 踪	稼働収入の増加	働き手の転入	年金等の増加	引 取 り	施 設 入 所	医 療 他 法	要保護者の転出	そ の 他
総 数	70	4		13	9	20	1	5	2		1	4	11
愛 川 町	68	4		12	9	19	1	5	2		1	4	11
清 川 村	2			1		1							

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況（平成 28 年 3 月現在）

区 分	総 数	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯
総 数	413	196	45	48	52	72
愛 川 町	391	180	45	43	51	72
清 川 村	22	16	0	5	1	0

エ 労働力類型別被保護世帯の状況（平成 28 年 3 月現在）

区 分	総 数	稼 働 世 帯					非稼働世帯
		世帯主が働いている世帯				世帯員稼働	
		常 用	日 雇	内 職	そ の 他		
総 数	413	62		9		14	328
愛 川 町	391	60		9		14	308
清 川 村	22	2					20

オ 医療扶助（平成 28 年 3 月現在）

区 分	入 院		入 院 外	
	精 神	そ の 他	精 神	そ の 他
総 数	13	14		454
愛 川 町	3	13		444
清 川 村	10	1		10

カ 生活保護施設措置状況（平成 28 年 3 月現在）

区 分	救 護 施 設	更 生 施 設
総 数	4	1
愛 川 町	4	1
清 川 村		

キ 保護の開始廃止件数の推移

区 分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
開 始	91	102	88	98	85
廃 止	72	98	73	73	70

ク 保護世帯等の推移（年度平均）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
世 帯 数	362	375	375	399	407
人 員	539	563	564	571	579
保 護 率 %	11.80	12.40	12.76	13.26	13.50

ケ 生活保護費の状況（27 年度計）

区 分	総 額 (円)	内 訳 (円)			
		生 活 扶 助	住 宅 扶 助	教 育 扶 助	医 療 扶 助
総 額	469,056,321	263,317,639	171,786,327	6,238,689	10,063,630
愛 川 町	451,827,360	251,628,484	166,483,041	6,171,979	9,893,820
清 川 村	17,228,961	11,689,155	5,303,286	66,710	169,810

区 分	内 訳 (円)				
	介 護 扶 助	出 産 扶 助	生 業 扶 助	葬 祭 扶 助	施 設 事 務 費
総 額	167,925	0	5,801,460	1,751,882	9,928,769
愛 川 町	167,925	0	5,801,460	1,751,882	9,928,769
清 川 村	0	0	0	0	0

(2) 障害児者福祉

郡部を所管する福祉事務所においては、特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当（経過措置分）の支給事務を行っています。

特別障害者手当等の支給状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

区 分	特別障害者手当(人)	障害児福祉手当(人)	福祉手当 (経過措置分)(人)
総 数	22	11	1
愛 川 町	20	10(1 名支給停止中)	1
清 川 村	2	1	0

(3) 児童福祉

郡部を所管する福祉事務所における児童福祉法の業務として、母子生活支援施設及び助産施設に関する相談・入所措置事務を行っています。

ア 母子生活支援施設利用状況（平成 28 年 3 月 31 日現在）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	1	0

イ 助産施設利用状況（年度計）

利用者居住地	愛川町	清川村
利用件数	0	0

(4) 女性保護

売春防止法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律に基づき、要保護女子の相談指導及び女性相談所等への一時保護を行っています。

女性相談員相談状況（主訴別取扱状況）

（平成 27 年度）

区分	総計	人間関係																			
		夫等				子ども			親族			交際相手			その他の者の暴力	男女問題	家庭不和	その他			
		夫等の暴力	酒乱・薬物中毒	離婚問題	その他	子どもの暴力	養育不能	その他	親の暴力	暴力的	その他の親族の	その他	交際相手の暴力	暴力的					同性間の交際相手の	その他	
総数	45	23		3					2			2			1			1			
愛川町	43	22		3					2			2			1			1			
清川村	0																				
その他	2	1																			

区分	経済関係				医療関係				住居問題	帰宅先なし	不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	〇条違反	人身取引
	生活困窮	サラ金・借金	求職	その他	病気	精神的問題	妊娠・出産	その他							
総数	5	3								5					
愛川町	5	3								4					
清川村															
その他										1					

※その他は、愛川町・清川村以外の都道府県市町村からの相談

## (5) 母子父子寡婦福祉

母子・父子自立支援員を配置し、母子父子寡婦福祉資金の貸付など母子・父子・寡婦の生活全般にわたる相談を行っています。

母子・父子自立支援員相談状況

(平成27年度)

区	分	総 数	愛 川 町	清 川 村	そ の 他	小 計	
総	数	435	427	4	4	435	
生 活 一 般	住 宅	233	30			30	
	医 療		病 気	0			0
			障 害	0			0
			そ の 他	8			8
	家 庭 紛 争		夫等の暴力	34		1	35
			そ の 他	27		1	28
	就 労		求職・転職	12			12
			資格取得	4			4
			職業訓練	1			1
			職場の悩み	16			16
	そ の 他						
	結 婚			1			1
	養 育 費			19			19
借 金		6			6		
そ の 他		72		1	73		
児 童	養 育	保育所入所	6			6	
		虐 待	6			6	
		そ の 他	35			35	
	教 育	61	7			7	
	非 行		0			0	
	就 職		0			0	
そ の 他		7			7		
生 活 援 護	母子福祉 資 金	貸 付	32			32	
		償 還	29	4		33	
	寡婦福祉 資 金	貸 付	0			0	
		償 還	0			0	
	公 的 年 金	133	0			0	
	児 童 扶 養 手 当		12			12	
	生 活 保 護		34			34	
税		0			0		
そ の 他		22			22		
そ の 他	売 店	8	0			0	
	た ば こ 販 売		0			0	
	公 営 住 宅		0			0	
	母子福祉施設利用		2		1	3	
	母子生活支援施設		5			5	

## 第5章

# 保健・医療・福祉基盤づくりと連携

1 保健医療福祉計画の推進	84
2 保健医療福祉の基盤づくり	87
3 適正な保健・医療・福祉等の確保	90
4 健康危機管理対策	98

## 1 保健医療福祉計画の推進

### (1) 県央地区保健医療福祉推進会議（平成9年度～）

医療法に基づく、二次保健医療圏である県央地区（厚木保健福祉事務所・厚木保健福祉事務所大和センター管内）の保健・医療・福祉に係る重要事項を協議するため県央地区保健医療福祉推進会議を設置しています。

県央地区保健医療福祉推進会議の開催

開催日	内 容	出席者数
2月4日	議題 病床整備に関する事前協議について 報告事項 ・ 神奈川県総合リハビリテーションセンターの再整備について ・ 地域医療構想の検討状況について	26

### (2) 地域医療構想調整部会（平成27年度～）

高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4つの医療機能ごとに2025年の医療需要と必要病床数を推計し、目指すべき医療提供体制を実現するため、二次医療圏ごとに定めることとされた地域医療構想を策定するため、地域医療構想調整部会を設置しています。

開催日	内 容	出席者数
8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療構想の策定について</li> <li>・ 病床機能報告制度の報告内容の共有について</li> <li>・ 国のデータに基づく県央地域の必要病床数の推計結果について</li> <li>・ 地域医療構想策定に係るスケジュールについて</li> </ul>	22
11月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構想区域の設定及び都道府県間に係る患者の流出入調整について</li> </ul>	24
2月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者の流出入に係る県内構想区域間の調整について</li> <li>・ 県央医療圏の地域医療に係る現状と課題について</li> </ul>	25
3月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県央区域の構想区域及び平成37年（2025年）の必要病床数について</li> <li>・ 神奈川県地域医療構想骨子（案）について</li> <li>・ 県央地域の課題と施策の方向性について</li> </ul>	21

(3) 地域医療対策

県央二次保健医療圏における地域医療の確保、整備・充実に必要な事項を協議するため県央地区地域医療専門部会等を設置しています。

ア 県央地区地域医療専門部会（平成 20 年度～）  
平成 27 年度開催なし

イ 県央地区二次救急医療広域協力円滑化ワーキンググループの開催（平成 21 年度～）

開催日	内 容	出席者数
8 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"><li>基本ルール変更案について</li><li>平成 27 年度下半期輪番調整原案について</li></ul>	23

ウ 脳卒中・心筋梗塞医療連携調整会議の開催（平成 22 年度～）

開催日	内 容	出席者数
7 月 27 日 (心筋梗塞)	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 28 年度以降のあり方について</li><li>平成 27 年度下半期の輪番体制について</li></ul>	20
7 月 27 日 (脳卒中)	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 28 年度以降のあり方について</li><li>平成 27 年度下半期の輪番体制について</li></ul>	19

(4) 地域・職域連携

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、働き盛りの世代を主な対象として、地域保健と職域保健が連携し、健康課題に対する効果的な対策等を推進しています。

ア 県央地区地域保健総合部会の開催（平成 20 年度～）  
平成 27 年度開催なし

イ 県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループの開催（平成 27 年度～）

開催日	内 容	出席者数
2 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"><li>平成 26 年度地域・職域連携推進事業の取組みについて</li><li>平成 27 年度地域・職域連携推進事業の取組みについて</li><li>各機関での取組み状況の共有</li><li>その他情報提供</li></ul>	26

ウ 県央地区地域・職域連携推進協議会の開催（平成 27 年度～）

開催日	内 容	出席者数
3 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域・職域連携推進事業実施報告について</li> <li>・ 各機関での取組み状況の共有について</li> <li>・ その他</li> </ul>	28

エ 研修 2 回 127 人

オ 健康教育 7 回 459 人

カ その他普及啓発 6 回 569 人

(5) 医療と介護の連携

2025年には、医療や介護が必要な高齢者が急増し、ピークを迎えることが見込まれています。このような状況の中、高齢者が尊厳を保ちながら、住みなれた地域で自立した生活を送ることができるように、「地域包括ケアシステム」（医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが、日常生活の場で切れ目なく提供できる仕組み）の構築を国、県、市町村がそれぞれの役割の中で取り組んでいます。

厚木保健福祉事務所では、地域包括ケアシステムの構築に向け、医療と介護の連携の推進を図ることを目的に、平成24年度から地域包括ケア会議を設置しました。

厚木保健福祉事務所地域包括ケア会議の開催（平成 27 年度）

開催日	内 容	参加・出席者数
2 月 24 日	<p><b>【開催場所】</b> 東名厚木クリニック</p> <p><b>【公開講座】</b> テーマ：「在宅医療・介護連携の未来～『横須賀市方式』の実践から～」 講 師：一般社団法人横須賀市医師会副会長 社会福祉法人 心の会 三輪医院院長 千場 純</p> <p><b>【会議】</b> ・ 県央地域における地域包括ケア・在宅医療の推進に係る現況 ・ 地域包括ケア・在宅医療の推進に係る関係団体の取組み状況</p>	<p><b>【公開講座】</b> 84 名</p> <p><b>【会議】</b> 36 名</p>

## 2 保健医療福祉の基盤づくり

### (1) 保健衛生研修

地域保健活動を展開する上での新たな専門的知識・技術の習得を図るため、県央地区の保健医療福祉関係職員等の研修を予定(平成28年1月18日)しましたが、大雪のため中止となりました。

### (2) 保健福祉事務所実習指導

#### ア 地域保健実習合同セミナー・合同オリエンテーション

前期 平成27年4月16日(木) 38名、17日(金) 62名

後期 平成27年9月3日(木) 29名、4日(金) 40名

#### イ 実習指導

##### 保健福祉事務所実習指導数

学生種別	学校施設数	実習生数	備考(学校名等)
総数	15	102	
保健師	4	15	県立保健福祉大学、東海大学、北里大学、昭和大学
看護師	5	66	県立保健福祉大学、神奈川歯科大学短期大学、湘南平塚看護専門学校、横浜市病院協会看護専門学校、厚木看護専門学校
栄養士	5	15	県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、関東学院大学、相模女子大学、文教大学
歯科衛生士	1	6	新横浜歯科衛生士専門学校

### (3) 衛生、福祉統計・報告

衛生及び福祉行政施策立案の基礎資料となる各種統計調査を実施しました。

ア 国民生活基礎調査 調査日 6月4日 対象数 11地区 131世帯〔世帯票〕

イ 2015年社会保障・人口問題基礎調査「第15回出生動向基本調査」

調査日 6月25日 対象数 7地区 61世帯

ウ 人口動態調査（月報）

エ 医療施設動態調査（月報）

オ 地域保健・健康増進事業報告（年度報）

カ 社会福祉統計報告（月報、四半期報、年度報）

キ 衛生行政報告例（年度報）

ク 病院報告（患者票：月報、従事者票：年度報）

### (4) 広報活動

地域住民の健康教育、健康づくりの推進のために、市町村広報紙等の媒体を活用し、普及活動を実施しました。

ア 市町村広報紙の活用

毎月全世帯配布で発行される管内各市町村広報紙に、健康診査・相談等の主要事業の日程及び健康づくり関係記事を掲載し、地域住民の積極的な参加を図りました。

イ 厚木保健福祉事務所のホームページの活用

必要に応じて随時更新している当所のホームページに、各種の健診や相談の日程をはじめ、健康・食品・環境衛生・受動喫煙防止等に関する講演会やセミナー、キャンペーン等のお知らせを掲載し、広く県民への周知を図りました。

ウ ツイッターによる情報発信

幅広い年齢層に対し、より効果的に事業内容等の情報を伝えるため、ツイッターによる情報発信を随時行いました。（平成24年7月開始）

## (5) 市町村への支援状況

市町村各種事業に対して各課職員による支援を行いました。

(活動した時間4時間を1人として換算)

区分	市町村事業	総数 (人)	厚木市 (人)	海老名市 (人)	座間市 (人)	愛川町 (人)	清川村 (人)
保健師	母子保健	12	12	4	12	3	2
	老人保健						
	健康増進			18	1		12
	精神保健福祉						
	その他		1				
	小計	12	13	22	13	3	14
栄養士	母子保健						
	老人保健						
	健康増進	8	1	6	1		
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	8	1	6	1		
歯科医師	母子保健	3					3
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	3					3
歯科衛生士	母子保健	3					3
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉						
	その他						
	小計	3					3
精神保健福祉担当	母子保健						
	老人保健						
	健康増進						
	精神保健福祉	17	9	1	1	2	4
	その他						
	小計	17	9	1	1	2	4
合	計	43	23	29	15	5	24

### 3 適正な保健・医療・福祉等の確保

#### (1) 医務

医務関係許可等取扱い件数（管内）

項 目	病 院		診 療 所			助 産 所	あんま・ はり・ きゅう	柔道整復	歯 科 技 工 所	
	病 院	X線装置	一 般	歯 科	X線装置					
総 数	63	68	282	47	283	2	81	36	7	
許 可 申 請	開 設		63	3						
	使 用	18	3							
	変 更 等	32	23	6						
届 出	開設・ 設置		17	73	10	136	1	32	11	6
	変 更 等	13	43	54	19	17		34	21	0
	休 廃 止		8	66	9	130	1	15	4	1

#### (2) 病院・診療所定期立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づく定期立入検査を次のとおり実施しました。

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設の分類と検査実施サイクル

- |           |                  |         |
|-----------|------------------|---------|
| ① 病院      | 病床を20床以上有する医療施設  | 毎年1回    |
| ② 有床診療所   | 19床以下の病床を有する医療施設 | 3年に1回以上 |
| ③ 人工透析診療所 | 人工透析設備を有する医療施設   | 3年に1回以上 |
| ④ 特定眼科診療所 | 要綱に定める要件を充たす医療施設 | 5年に1回以上 |

医療施設定期立入検査対象機関数

(平成27年4月1日現在)

	厚木市	海老名市	座間市	愛川町	清川村	合計
病 院	11	5	3	1	1	21
有 床 診 療 所	6	6	3			15
人工透析診療所	2	3	1	1		7
特定眼科診療所		1				1
合 計	19	15	7	2	1	44

#### ・平成27年度定期立入検査施設

病院 21施設(厚木市11、海老名市5、座間市3、愛川町1、清川村1)  
診療所 9施設(厚木市5、海老名市3、座間市1)

ア 病院立入検査

名 称	実施日	名 称	実施日
さがみ野中央病院	9月14日	七沢リハビリテーション病院脳血管センター	11月17日
座間厚生病院	9月24日	愛光病院	11月24日
森の里病院	9月29日	湘陽かしわ台病院	12月3日
オアシス湘南病院	10月1日	愛川北部病院	12月7日
相武台病院	10月6日	厚木市立病院	12月14日
相州病院	10月13日	相模台病院	12月21日
清川遠寿病院	10月20日	厚木佐藤病院	1月15日
仁厚会病院	10月27日	海老名メディカルサポートセンター	1月25日
近藤病院	11月5日	海老名総合病院	1月25日
湘南厚木病院	11月10日	東名厚木病院	1月28日
神奈川リハビリテーション病院	11月17日		

イ 診療所立入検査

有床診療所（7施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
葉梨整形外科	2月16日	県央胃腸クリニック	3月1日
小児科内科落合医院	2月24日	塩塚産婦人科	3月3日
笹生循環器クリニック	2月26日	並木産婦人科クリニック	3月18日
代田産婦人科	2月29日		

人工透析診療所（2施設）

名 称	実施日	名 称	実施日
今里クリニック	1月7日	腎健クリニック	2月2日

特定眼科（0施設）

ウ 調査内容

病 院	診 療 所
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者の配置状況、健康診断</li> <li>・構造設備</li> <li>・医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者の配置状況、健康診断</li> <li>・構造設備</li> <li>・医療安全に関する総合的対策 (院内感染対策、医療機器・医薬品の安全管理等)</li> </ul>

エ 調査結果

		病院(件)	診療所(件)
指摘事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に重大な影響を及ぼすおそれがあり、早急な改善が必要な事項	0	0
指導事項	医療法及び関連法令の違反であって、患者への医療提供及び安全確保に影響を及ぼすおそれがあり、改善が必要な事項	4	2
口頭指導	医療法及び関連法令の違反であって、当該違反事実等の改善が比較的容易であると認められる場合及びその他、所長が特に必要があると認めた事項	14	21

(3) 医療関係相談

ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	4	1	1		2	3		4	1	2	1	21

イ 相談方法

電話	来庁	手紙	合計
19	1	1	21

ウ 対象施設

病 院	一般診療所	歯科診療所	助産所・施術所	その他（エステ等）	合計
13	6			2	21

エ 相談内容

医療機関の対応・サービスに関する不満、苦情	6
医療行為についての疑義、苦情	2
医療関係法令に関する照会	
医療機関についての問い合わせ	
その他	15

#### (4) 介護保険

##### 事業者指導（平成13年度～）

介護保険指定事業者等を対象に、適正な介護保険給付の確保、介護サービスの質の確保等を目的として、指導しました。

##### ア 集団指導

介護保険指定事業者等を対象に、介護給付サービスの取扱い、介護報酬の請求内容、事業運営上の注意点等について、介護保険課、高齢施設課、各保健福祉事務所が共同で、講習会を開催しました。

開催日	会場
5月8日	鎌倉芸術館
5月12日	小田原市生涯学習センターけやき
5月14日	神奈川県総合医療会館
5月15日	茅ヶ崎市民文化会館
5月19日	伊勢原市民文化会館
5月20日	海老名市文化会館
5月21日	神奈川県総合医療会館
5月28日	神奈川県総合医療会館

イ 実地指導

実地指導は、介護保険指定事業者等の事業所に出向き、帳票類等関係書類の閲覧や関係者の面談により、人員、運営基準等の遵守状況を確認し、改善に向けて指導を行いました。

実地指導実施状況（サービス数）

区 分		厚木市		大和市		海老名市		座間市		綾瀬市		愛川町		合計	
		介 護	予 防												
居 宅 介 護 支 援 事 業 者		4		5		1		3		3		1		17	
居 宅 サ ー ビ ス	訪 問 介 護	3	2	7	7	1	1	3	3	2	2			16	15
	訪 問 入 浴 介 護							1	1					1	1
	訪 問 看 護	3	3	2	2	3	3	1	1	1	1			10	10
	訪問リハビリテーション														
	通 所 介 護	9	7	9	9	6	5	5	3	3	2	1	1	33	27
	通所リハビリテーション	1	1											1	1
	短期入所生活介護	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	5	5
	短期入所療養介護	1	1											1	1
	特定施設入所者生活介護			2	2									2	2
	福祉用具貸与	1	1											1	1
	特定福祉用具販売	1	1											1	1
計		20	17	21	21	11	10	10	8	7	6	2	2	71	64
介 護 保 険 施 設	介護老人福祉施設			1		1				1		1		4	
	介護老人保健施設		1											1	
	介護療養型医療施設														
	計		1	1		1				1		1		5	
合 計		42		48		23		21		17		6		157	

(5) 免許取扱い数

医師・看護師その他医療関係従事者等の免許関係事務を行いました。

項目	総数	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	診療放射線技師	臨床検査技師	衛生検査技師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	歯科技工士	受胎調節実地指導員
登録申請	447	18	3	36	20	5	159	9	41	73	11	15		33	17	5		1
籍訂正	260	11	1	25	22	3	113	14	15	30	1	9		8	7	1		
再交付	13	1		2			6	3	1									
登録抹消	12	2	2		1		2	5										
返納	2						1	1										

(6) 献血

平成 27 年度、神奈川県献血目標の 313, 445 人のうち厚木保健福祉事務所の目標は 8, 689 人 (3, 349 リットル) と定められ、管内市町村をはじめ関係者の理解と協力を得て、10, 575 人に献血をしていただきました。

ア 献血数・目標数 (市町村別)

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数 (人)	献血数 (人)						
総数	8, 689	10, 575	635	574	8, 054	10, 001		
厚木市	3, 875	4, 810	283	227	3, 592	4, 583		
海老名市	2, 704	4, 185	198	295	2, 506	3, 890		
座間市	1, 518	893	111	39	1, 407	854		
愛川町	553	660	40	12	513	648		
清川村	39	27	3	1	36	26		

イ 年次別献血数・目標数

項目	総数		200ml		400ml		成分	
	目標数 (人)	献血数 (人)						
平成 18 年	11, 581	14, 379	462	1, 288	11, 119	13, 091		
平成 19 年	10, 558	14, 931	411	988	10, 147	13, 943		
平成 20 年	12, 572	14, 106	430	436	12, 142	13, 670		
平成 21 年	12, 672	11, 558	447	122	12, 225	11, 436		
平成 22 年	12, 779	10, 531	418	101	12, 361	10, 430		
平成 23 年	8, 543	9, 515	523	103	8, 020	9, 412		
平成 24 年	9, 009	9, 470	271	196	8, 738	9, 274		
平成 25 年	8, 639	11, 131	259	553	8, 380	10, 578		
平成 26 年	8, 551	9, 757	431	412	8, 120	9, 339		
平成 27 年	8, 689	10, 575	635	574	8, 054	10, 001		

## (7) 表彰

ア 神奈川県保健衛生表彰（知事）〔平成 27 年 11 月 24 日：神奈川県庁本庁舎大会議場〕

## 個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	関根 富佐夫	医師 関根医院
	馬来 忠道	医師 馬来内科胃腸外科
	本間 郁望	看護師 厚木市休日夜間急患診療所
	石崎 昌実	臨床検査技師 座間小児科診療所
	糸 結花子	管理栄養士 森の里病院
環境衛生関係功労者	長谷川 雅邦	獣医師 長谷川動物病院
食品衛生関係功労者	米田 恒平	菓子製造業 クウ・デ・ラパン
地域公衆衛生活動関係功労者	石原 咲子	食生活改善推進団体 あゆみ会

## 施設の部

施設名	業種	施設の所在地
そうてつローゼン さがみ野店	魚介類販売業	海老名市東柏ヶ谷

イ 保健衛生表彰（厚木保健福祉事務所長）〔平成 27 年 11 月 16 日：厚木市文化会館〕

## 個人の部

表彰区分	氏名	職種及び所属等
医療関係功労者	中村 和久	医師 中村整形外科
	山田 昌子	医師 医療法人社団海老名中央医院
	久下 壮一	医師 竹川胃腸科医院
	佐藤 茂樹	歯科医師 茂樹歯科医院
	鈴木 彰	歯科医師 ベル歯科医院
	小峰 敏雄	歯科医師 小峰歯科医院
	今福 浩行	薬剤師 有限会社イマフク 愛甲調剤薬局
	大熊 薫	薬剤師 三愛薬局杉久保店
	川野 友子	看護師 厚木整形外科
	矢野 明美	看護師 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス海老名総合病院
	小森 俊洋	あんま・マッサージ・指圧師 山下整形外科
	杉山 初代	歯科衛生士 厚木市歯科保健センター（障害者歯科診療）
	森住 八知代	看護師 医療法人社団福寿会 訪問看護ステーションホット北部
川上 修治	調理師 医療法人弘徳会 愛光病院	
環境衛生関係功労者	松本 智	獣医師 まつもと動物病院
	高尾 純夫	理容師 ヘアーサロン タカオ
	葉山 喜義	美容師 有限会社 ラブリー
食品衛生関係功労者	古郡 貢	飲食店営業 レストラン ふるさと
	内山 百合子	飲食店営業 美人スナック うそつき
	上野 シノブ	飲食店営業 スナック 忍
地域公衆衛生活動関係功労者	小池 フミ子	食生活改善推進団体 あゆみ会

優良施設

施設名	業種	施設の所在地
レストラン ベンガル	飲食店営業	厚木市七沢
盛 月	飲食店営業	座間市座間
日立オートモティブシステムズ(株) 厚木事業所(第二地区)	給食受託業務	厚木市飯山

献血推進団体

表彰団体名	所在地
岩井機械工業株式会社 厚木工場	厚木市上依知

## 4 健康危機管理対策

### (1) 鳥インフルエンザ対策

#### ア 鳥インフルエンザ実働訓練への参加

##### (ア) 目的

高病原性鳥インフルエンザの相模原市内の養鶏場における発生を想定して、速やかに発生農場における防疫作業を完了させるために、ベースキャンプ、現場事務所、消毒ポイントを設定した一連の訓練を実施し、危機管理体制の検証及び関係機関相互の強化や対応力の向上を図った。

(イ) 日時 11月26日 10:00～16:00

##### (ウ) 主催

県央地域県政総合センター  
環境農政局農政部畜産課  
県央家畜保健衛生所  
湘南家畜保健衛生所  
一般社団法人神奈川県畜産会

##### (エ) 参加機関

会場	参加機関
第1会場 総合防災センター	県央地域県政総合センター、環境農政局総務室、県央家畜保健衛生所、厚木保健福祉事務所
第2会場 かながわ農業アカデミー	県央地域県政総合センター、環境農政局農政部畜産課、県央家畜保健衛生所、湘南家畜保健衛生所、厚木保健福祉事務所、一般社団法人神奈川県畜産会
第3会場 JA 愛川半原支所	県央地域県政総合センター、県央家畜保健衛生所

##### (オ) 訓練内容

会場	訓練の内容
第1会場 総合防災センター	農場での作業内容説明、健康調査及び防護服の着衣指導を受けた上で農場に輸送(仮想)する。また、農場からベースキャンプに帰還後、防護服の脱衣指導及び健康調査を受ける。
第2会場 かながわ農業アカデミー	防護服を着用し、発生農場に到着後、現場事務所では防護服以外の必要な装備を身に付け、鶏舎に入って殺処分、消毒作業等の防疫作業に従事した後、現場事務所内で汚染された防護服等を脱衣・廃棄し、新しい防護服に着替える。
第3会場 JA 愛川半原支所	消毒ポイント設置場所に移動し、必要機材を設置し、関係車両の消毒作業を実施する。

※ 平成27年度は上記のほか、県央地域県政総合センターが主催した鳥インフルエンザの実働訓練(5月15日)及び図上訓練(10月16日)にも参加した。

## 第6章 資料

1 保健福祉事務所の沿革	99
2 各種協議会委員一覧	102
3 地域保健推進特別事業	104
4 職員の研究・学会等発表	104

## 1 保健福祉事務所の沿革

### (1) 沿革

#### ア 厚木保健福祉事務所（厚木保健所）

昭和	15年	9月	愛甲郡厚木町川田 1328 番地に開設 管轄区域は愛甲郡一円（2町15村）であり、管内人口は 46,250人（男23,284人、女22,966人）
	24年	4月	所轄区域（愛甲郡一円、座間町、海老名町、有馬村）が変更
	27年	5月	厚木町厚木 1806 番地に新築移転
	28年	10年	課制（総務課、衛生課、保健予防課）施行
	42年	6月	厚木市水引 2-3-6 に新築移転（県庁舎）
	44年	7月	総務課を管理課に課名変更
	45年	7月	次長制を設置し、保健婦係が保健婦室となりました。
	46年	6月	座間保健ステーション（座間市栗原 4989-1）開設
	49年	8月	衛生課が環境衛生課と食品衛生課に分かれ、4課1室制となりました。
	51年	7月	環境、食品衛生課担当の技幹制を設置
	55年	4月	海老名支所（海老名市さつき町 39 の 1 番地）開設
	58年	6月	保健婦室が健康指導課となりました。
	60年	4月	座間保健ステーションを座間市に移管 保健衛生部と環境衛生部の 2 部制となりました。
	60年	5月	厚木市水引 2-3-1 に住居表示が変更
	61年	3月	試験検査室等改修及び耐震補強工事完成
	61年	4月	保健衛生部衛生検査課を設置
平成	2年	9月	開所 50 周年を迎えました。
	5年	4月	食品衛生課に食品衛生専門監視班を設置
	9年	4月	海老名支所の廃止とともに、県央地区行政センター福祉部 と統合し、厚木保健福祉事務所として設置され、管理課、 企画調整室、保健福祉部保健福祉課・保健予防課・生活福 祉課、生活衛生部環境衛生課・食品衛生課・衛生検査課の 2 部 1 室 7 課となりました。

- 15年 6月 衛生検査課が衛生研究所に組織改編され、2部1室6課となりました。
- 19年 3月 津久井保健福祉事務所の廃止により、相模原市の介護保険事業者指導等が当所の所掌事務に加わりました。
- 19年 4月 企画調整室が企画調整課と変更され、2部7課となりました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。
- 26年 4月 厚木保健福祉事務所と大和保健福祉事務所を統合し、支所として厚木保健福祉事務所大和センターを設置しました。

#### イ 愛甲福祉事務所

- 昭和 26年 10月 社会福祉事業法に基づき福祉事務所を開設  
管轄区域は、愛川町、高峰村、中津村、煤ヶ谷村、宮ヶ瀬村、厚木町、南毛利村、玉川村、荻野村、小鮎村、睦合村、依知村の2町10村となりました。
- 30年 7月 行政組織改正により次長制を廃止。保護課が福祉課となる。  
厚木町の市制施行町村合併により所轄区域変更（愛甲郡、高座郡、三浦郡）。また、高座愛甲福祉事務所と改名し事務所も厚木市内に移転しました。
- 42年 6月 行政組織改正により次長制度を復活し、総務課、福祉課、保護課の3課制となりました。
- 44年 7月 行政機関設置条例の一部改正により県央福祉事務所と改名、所轄区域は、葉山町、寒川町を湘南福祉事務所へ移管し、伊勢原町が当管内に移りました。  
行政組織改正により、専任所長制となりました。
- 46年 3月 伊勢原町の市制施行により所轄区域から除外
- 46年 11月 海老名町及び座間町の市制施行により、所轄区域から除外
- 53年 11月 綾瀬町の市制施行により、所轄区域から除外
- 60年 4月 行政組織改正により県央地区行政センター福祉部（愛甲福祉事務所）となりました。
- 平成 5年 4月 身体障害者福祉法、老人福祉法が町村に移譲されました。
- 9年 4月 行政組織改正により、厚木保健福祉事務所（愛甲福祉事務所）となりました。
- 15年 4月 知的障害者福祉法が町村に移譲されました。
- 20年 4月 保健福祉事務所、保健所、福祉事務所の3組織を一つの組織に整理し、名称を厚木保健福祉事務所に統一しました。

(2) 厚木保健福祉事務所歴代所長

平成 9年4月～ 村上 賢二  
 平成11年4月～ 堀井 昌子  
 平成13年4月～ 西平 浩一  
 平成16年4月～ 山徳 みゑ  
 平成18年4月～ 岡部 英男  
 平成23年4月～ 鈴木 仁一  
 平成25年4月～ 深澤 博史

(3) 施設の状況

ア 土地

	所在地	用途	面積 (㎡)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	厚木市水引 2-3-1	敷地	2,933.27	県有	S41.12.14

イ 建物

	名称	構造	面積 (㎡)	所有区分	取得年月日
厚木保健福祉事務所	別館	RC2	1,292.28	県有	S42.3.31
	車庫	RC平	70.80	〃	S44.12.20
	倉庫	B平	20.22	〃	S47.3.10
	〃	木平	4.86	〃	S54.11.20
	〃	SF平	8.02	〃	H14.3.25
	ボンベ庫	B平	2.56	〃	S61.3.27
	計		1,398.74		
厚木合同庁舎	本館 4階 (5階及び地下倉庫含む)	RC5	580.99	使用	H8.4.1

## 2 各種協議会委員一覧

### (1) 県央地区保健医療福祉推進会議委員名簿（平成 27 年度）

分野	氏名	役職名
医師会	馬嶋 順子	厚木医師会長
	小林 米幸	大和市医師会長
	高橋 裕一郎	海老名市医師会長
	浅利 秀男	座間綾瀬医師会長
病院	杉山 茂樹	厚木病院協会会長
	高原 和亨	大和高座病院協会会長
歯科医師会	馬場 賢輔	厚木歯科医師会長
	青木 則博	大和歯科医師会長
	鈴木 仙一	海老名市歯科医師会長
	櫻田 弘行	座間市歯科医師会
薬剤師会	大塚 孝明	大和綾瀬薬剤師会長
	青木 茂昌	海老名市薬剤師会長
看護協会	直井 ひろみ	神奈川県看護協会県央支部長
社会福祉協議会	萩原 庸元	愛川町社会福祉協議会長
	高橋 政勝	大和市社会福祉協議会長
学校	小柳 滋	厚木愛甲地区学校保健会長
	堀 嶋 裕	大和市学校保健会長
食生活団体	山崎 弘子	なごみ会長
健康普及員団体	峯下 忠義	健康あやせ普及員連絡協議会
食品団体	石川 健次	大和地区食品衛生協会会長
環境団体	大塚 祐二	厚木地区環境衛生協会会長
行政機関	秋山 芳彦	厚木市市民健康部長
	大矢 貴志	大和市健康福祉部長
	横山 丘明	海老名市保健福祉部長
	加藤 成郎	座間市健康部長
	駒井 利明	綾瀬市市民こども部長
	平本 明敏	愛川町民生部長
	折田 克也	清川村保健福祉課長
	中田 和之	厚木児童相談所長
	深澤 博史	厚木保健福祉事務所長
	中井 信也	厚木保健福祉事務所大和センター所長

## (2) 県央地区保健医療福祉推進会議 地域医療構想調整部会委員名簿 (平成 27 年度)

分野	氏名	役職名
医師会	馬嶋 順子	厚木医師会長
	小林 米幸	大和市医師会長
	高橋 裕一郎	海老名市医師会長
	浅利 秀男	座間綾瀬医師会長
歯科医師会	馬場 賢輔	厚木歯科医師会長
	青木 則博	大和歯科医師会長
	鈴木 仙一	海老名市歯科医師会長
	櫻田 博之	座間市歯科医師会長
病院協会	杉山 茂樹	厚木病院協会長
	高原 和亨	大和高座病院協会長 (神奈川県病院協会常任理事)
薬剤師会	大塚 孝明	大和綾瀬薬剤師会長
	青木 茂昌	海老名市薬剤師会長
看護協会	直井 ひろみ	神奈川県看護協会県央支部長
医療保険者	近藤 正毅	全国健康保険協会神奈川県支部業務部長
	加藤 毅	健康保険組合連合会神奈川県連合会
行政機関	秋山 芳彦	厚木市市民健康部長
	大矢 貴志	大和市健康福祉部長
	横山 丘明	海老名市保健福祉部長
	加藤 成郎	座間市健康部長
	駒井 利明	綾瀬市市民こども部長
	平本 明敏	愛川町民生部長
	折田 克也	清川村保健福祉課長
関係団体	増沢 成幸	神奈川県医師会理事
保健福祉事務所	深澤 博史	厚木保健福祉事務所長
	中井 信也	厚木保健福祉事務所大和センター所長

## (3) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会結核部会委員名簿

(平成 28 年 3 月末現在)

氏名	所属等	備考
楠原 範之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
山野 義光	海老名総合病院	医療に関する学識経験者
前田 育恵	相模台病院	医療に関する学識経験者
宮原 佐弥	東名厚木病院	医療に関する学識経験者
鏡 絹子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者
宮田 和子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

## (4) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会感染症部会委員名簿

(平成 28 年 3 月末現在)

氏名	所属等	備考
山本 裕康	厚木市立病院	感染症指定医療機関の医師
馬嶋 順子	馬嶋医院	医療に関する学識経験者
楠原 範之	くすはら内科クリニック	医療に関する学識経験者
宮田 和子	厚木人権擁護委員協議会	医療及び法律以外の学識経験者

### 3 地域保健推進特別事業

区分	事業名	主管課	協力団体等
	平成 27 年度該当なし		

### 4 職員の研究・学会等発表

演題名	発表日	研究・学会等名称	発表者
災害時歯科保健医療におけるアセスメント対応体制の構築について	5月29日	第64回日本口腔衛生学会	北原 稔
高病原性鳥インフルエンザ対策～実働訓練と関係機関連携～	2月1日	第37回神奈川県地域保健師研究発表会	望月 真里子
若い世代からの食生活支援対策～大学生への朝食アンケートの結果から～	2月16日	第39回神奈川県栄養改善学会	渡辺 亜美
神奈川県 8020 運動推進員のためのお口の健口体操普及手帳について	2月21日	平成27年度神奈川県地域歯科医療研修会	北原 稔



神奈川県

厚木保健福祉事務所

厚木市水引2-3-1 〒243-0004 電話(046)224-1111(代表)